

# 指数テーブル使用方法

## 1. 指数テーブルの使い方

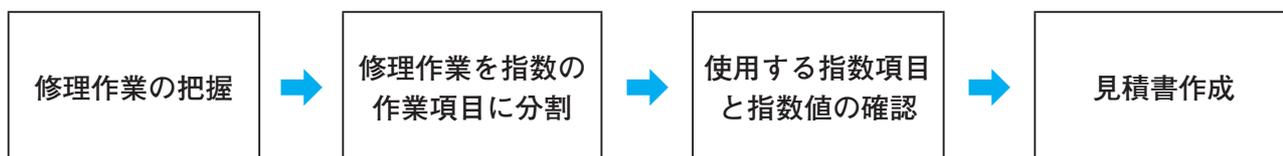
### 1-1. 指数テーブルとは

自研センターが作成する指数は、指数テーブルとして発刊※されています。この指数テーブルの目的は主要な作業について、「標準的な復元修理の作業時間を的確にかつ容易に把握すること」です。

見積書の作成において指数テーブルを活用するには、まず事故車の復元修理作業の段取り・手順を具体的に把握し、その一連の作業を指数テーブルが適用できる“作業項目”に分割することが必要です。そして、これらの項目に対して指数を適用することにより、指数を用いた見積書を作成することができます。さらに、指数テーブルの摘要欄の表記は、構造や組付け方法が異なる個々の事故車の分解組立手順を参考にしたり、見積り作成時に起こり得る作業項目の漏れや重複の防止に有効です。

日本アウダテックス株式会社より発刊

### 1-2. 指数テーブルを活用した見積書作成の流れ



それでは、ここで例を用いて実際の指数テーブルを活用した見積りの仕方を説明します。車両前部が損傷した乗用車（図1）を例に復元修理の見積りを考えてみます。損傷調査の結果、表1に示すような損傷部位と損傷程度の所見が出たこととします。

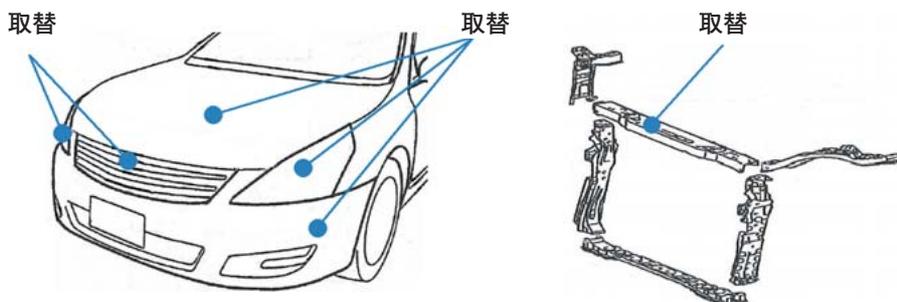


図1 損傷車イメージ

(損傷部位)	(所見)
1. フロントバンパ	取替
2. ラジエータグリル	取替
3. ヘッドランプ Assy	取替
4. ボンネット	取替
5. ラジエータアッパサポート	取替

表1 損傷調査結果

次にこの車両の復元作業手順を考えます。作業しなければならない部位で、一番奥にあるのはラジエータアップサポートです。この部品を取替るために車両を分解していかなければなりません。

そこで指数テーブルの指数項目「B125 ラジエータアップサポート取替」を見ると、フロントバンパから両側ヘッドランプまでを取外した状態からの作業の指数となっていることがわかります。

B125	
ラジエータアップサポート取替	
○.○	取外し状態
	・フロントバンパ                      ・両側ヘッドランプ Assy ・ラジエータグリル
	(含) 作業および部品
	・付属品

表2 指数テーブル表 指数項目 B125

フロントバンパから両側ヘッドランプまでを取外しラジエータアップサポートの取替が済むと、今度は取外し作業と逆の手順で組付け作業が必要です。

こうして指数テーブルを活用しながら作業順序を並べてみると、以下のようになります。

<取外し>	<組付け>	指数項目番号	(対応指数項目名)	<補修塗装>
↓	↑	B020	フロントバンパ取替	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボンネット (外板パネル補修塗装指数)</li> <li>・ラジエータアップサポート (内板骨格パネル補修塗装指数)</li> <li>・フロントバンパ (樹脂バンパ補修塗装指数 (未塗装の場合))</li> </ul>
		B030	ラジエータグリル取替	
		B040	ヘッドランプ Assy 取替	
		B070	ボンネット取替	
		B125	ラジエータアップサポート取替	

表3 復元修理作業の指数作業項目分割

一連の復元作業が、指数テーブルの指数項目に分割できたことになり、関係作業項目の指数を加算することで脱着・取替の合計指数がわかります。また、これに補修塗装の指数を加算すれば、復元修理の指数の総計が求められます。



## 2. 指数テーブルの表示

### 2-1. 指数テーブル

指数テーブルは、自動車メーカーから発売される新型車を対象とした「脱着・取替指数」「補修塗装指数」が1冊にまとめられたものです。ここに掲載されている指数は、指数作成時に調査した車両の形状、仕様およびメーカーオプションに基づいており、指数発表以降に追加されたモデルやマイナチェンジされた車両には同指数を適用することができない場合がありますので注意が必要です。

### 2-2. 指数テーブルの表紙

図1に指数テーブルの表紙例としてダイハツ タントを示します。表紙には、この指数テーブルに掲載されている車種の情報と発行年月が記載されています。

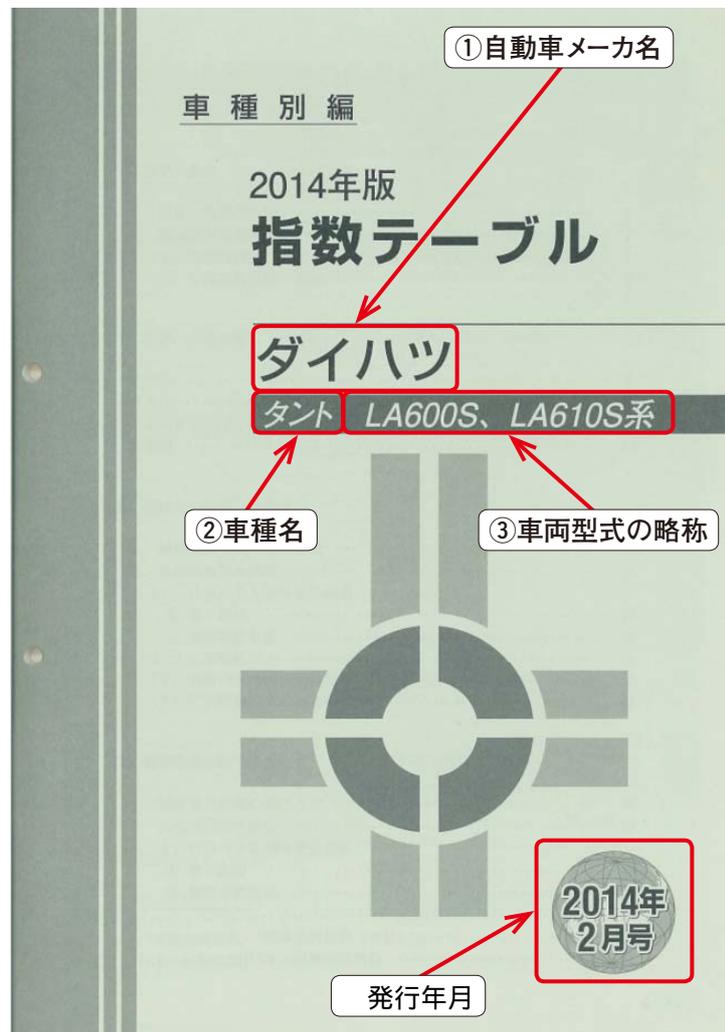


図1 指数テーブルの表紙例

## 2-3. 脱着・取替指数テーブルの名称と内容

「B010 フロントバンパ脱着」のテーブルを例に、各欄の内容を説明します(図2、表1)。

① 指数項目	B010		⑤ 摘要
② 指数作業項目	(1) フロントバンパ脱着		
③ 指数値	0.50	取外し状態 ・フロントグリルAssy (含)作業および部品 -	
④ コメント	フォグランプ 0.60	取外し状態 ・フロントグリルAssy (含)作業および部品 ・フォグランプハーネス緑切	
	(2) フロントバンパ、フロントバンパレインフォース脱着		
	0.70	取外し状態 ・フロントグリルAssy (含)作業および部品 ・フロントバンパエネルギーアブソーバ脱着	
	フォグランプ 0.80	取外し状態 ・フロントグリルAssy (含)作業および部品 ・フロントバンパエネルギーアブソーバ脱着 ・フォグランプハーネス緑切	

図2 「B010 フロントバンパ脱着」の指数テーブル例

表1 指数テーブル各欄の内容

図2の番号	各欄の記載内容
① 指数項目	<p>作業項目ごとに定められた車種共通の4ケタの番号です。</p> <p>頭文字のアルファベットは以下の作業種別を表し、3ケタの数字は車体前部から後部作業の順番でつけられています。</p> <p>「B」…ボルト系および溶接系部品の脱着または取替作業</p> <p>「M」…メカニカル系部品の脱着または取替作業</p> <p>「G」…ガラス系部品の脱着または取替作業</p> <p>表示例：B020、M030、G035</p>
② 指数作業項目	<p>代表的な部品名称とその作業内容です。部品名称と作業内容は車種により異なります。</p> <p>車両を構成する主要な部分の作業について、代表的な部品名称を用いた作業項目名称が記載されています。</p> <p>表示例：ヘッドランプ脱着、フロントフェンダ脱着、リヤバンパ取替</p> <p>作業範囲の異なる作業が複数設定される場合には、作業項目名の前に(1)、(2)…と記載されます。</p> <p>表示例：(1) フロントバンパ脱着 (2) フロントバンパ、フロントバンパレインフォース脱着</p>

③ 指数値	<p>当該指数作業項目に対応した指数値が記載されています。最小単位は0.10で作業時間6分に相当します。</p> <p>仕様や装備品等に伴う前提条件または作業内容の違いにより、1つの指数作業項目に複数の指数値が記載されている場合があります。</p> <p><b>表示例:0.10、1.20、3.50、6.80</b></p> <p><b>オプションに関する注意</b>      指数はメーカーオプションのみを作成対象としており、これ以外のディーラオプションや地域限定仕様などには対応していません。</p>
④ コメント	<p>複数の指数値が記載された場合、その違いを「コメント」で表しています。</p> <p>図2では、コメントのない指数とコメント「フォグランプ」と表記された2つの指数値が表示されています。これは、フォグランプの付いていない標準仕様と、「フォグランプ」の付いた仕様の指数がそれぞれあることを表しています。</p> <p><b>表示例:右側、4WD、スベアタイヤ</b></p>
⑤ 摘要	<p>指数ごとの摘要（作業条件、作業範囲）が記載されています。</p> <p><b>※「取外し状態」</b>      当該作業項目の前提条件が記載されています。</p> <p>図1では、フロントバンパ脱着の取外し状態としてフロントグリル Assy が記載されています。これは、フロントグリル Assy が取外された状態からフロントバンパを取外す作業として指数が設定されていることを表しています。なお、損傷状態によっては「取外し状態」に記載されている部品の取外しが不要な場合もあるので注意が必要です。</p> <p><b>表示例:フロントバンパ、フロントドア、リヤシート</b></p> <p><b>※「(含) 作業および部品」</b>      当該指数の作業範囲として、含まれている作業と部品名称が記載されています。</p> <p>作業上、必要とされる細かな部品については指数の作業に含まれていますが、個々の部品名称ではなく、「付属品」とまとめて記載されています。</p> <p><b>表示例:バックドアトリム、付属品、立付調整、水密テスト</b></p>

# 3. 脱着・取替指数

## 3-1. フロントバンパに関する指数(指数項目B010、B020)

### (1) 対象部品

フロントバンパに関する指数では、フロントバンパカバー（以下バンパカバー）およびフロントバンパ  
リインホースメント（以下リインホース）を作業の対象としています（図1）。

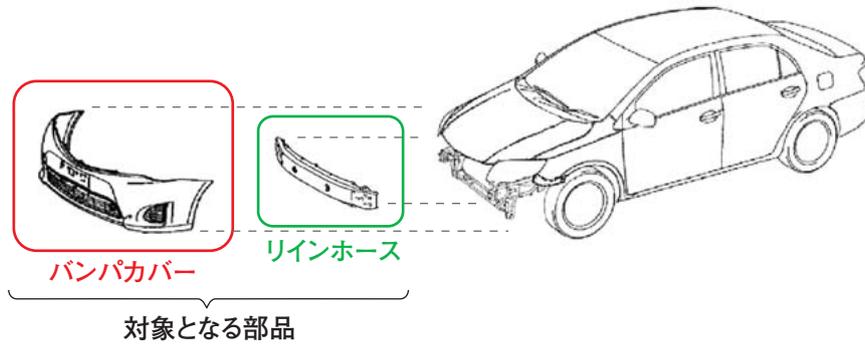


図1 フロントバンパに関する指数の対象となる部品

### (2) 作業範囲

指数には上記部品の脱着作業と取替作業が設定されています。それぞれの作業範囲は次のとおりです。

#### ①バンパカバー、リインホース脱着作業

脱着作業は、バンパカバー、リインホースを車体から取外し、再度取付ける作業です（図2）。バン  
パカバー、リインホースを取外した後にボデー側に残る部品の脱着は作業範囲に含まれていないので、  
ご注意ください。

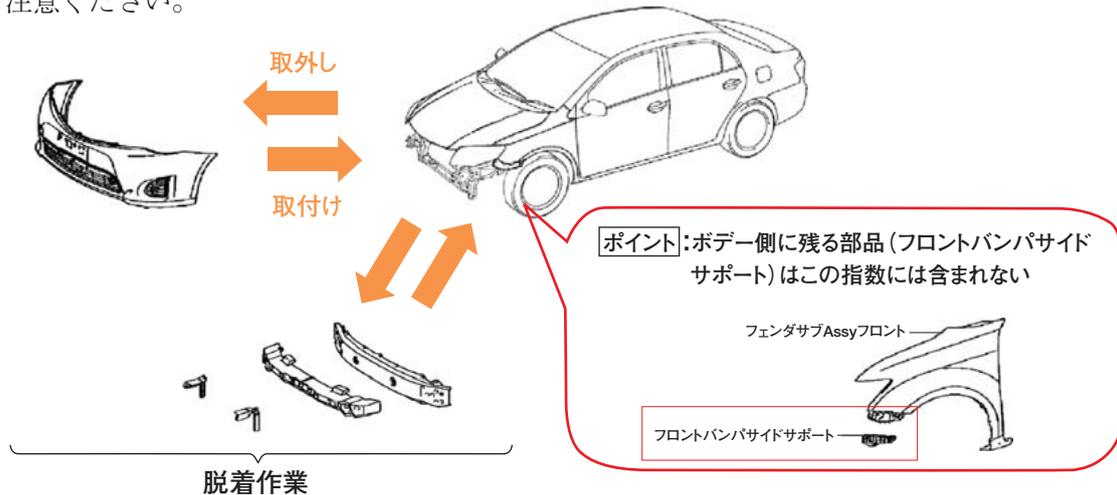


図2 バンパカバー、リインホース脱着作業のイメージ

②バンパカバー、ラインホース取替作業

取替作業は、バンパカバー、ラインホースを車体から取外したあと、構成部品を補給部品単位まで分解して新しいバンパカバー、ラインホースに組替、再度車体に取り付ける作業です。図3はバンパカバーのみを取替る場合の作業範囲を例示したものです。

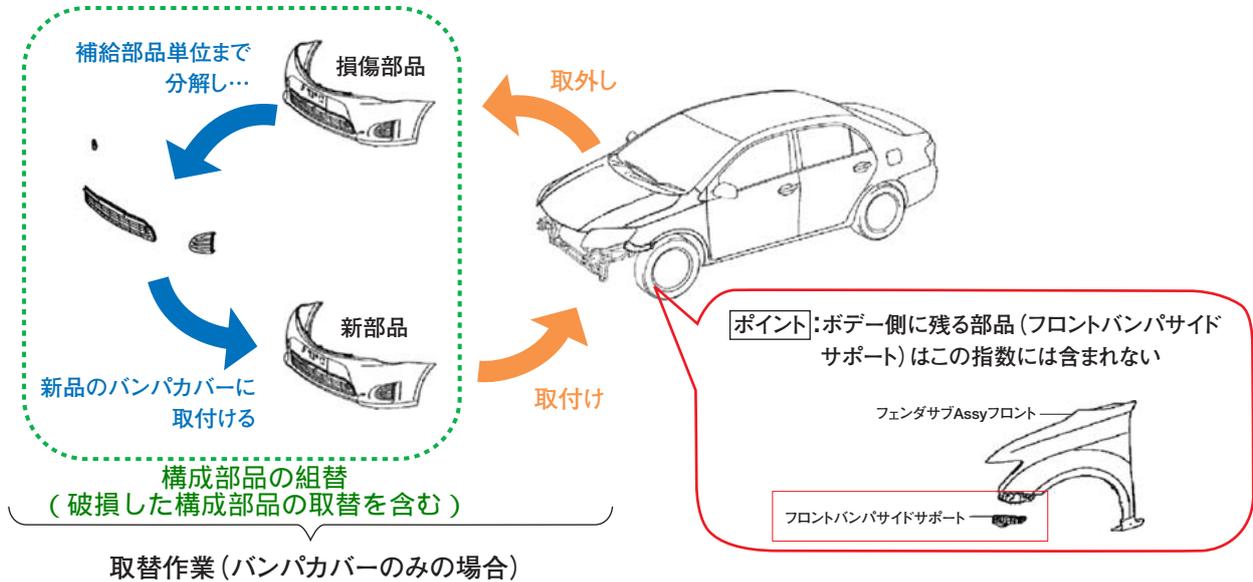


図3 バンパカバー取替作業のイメージ

(3) 具体例

以上の基本的な考え方を基に、「トヨタ カローラフィールダー 160系」の指数テーブル「B020 (1) フロントバンパカバー取替」を例に、その内容を説明します。

B020	
<b>(1) フロントバンパカバー取替</b>	
① コメント無し 0. 90	取外し状態 ・ラジエータグリルサブAssy ② (倉) 作業および部品 ・フロントバンパエネルギーアブソーバサブAssy ・フロントバンパカバーローワー ・両側フロントバンパホールカバー ※1
① フォグランプ 1. 00	取外し状態 ・ラジエータグリルサブAssy ② (倉) 作業および部品 ・両側フォグランプAssy ※2 ・両側フォグランプカバー ・フロントバンパエネルギーアブソーバサブAssy ・フロントバンパカバーローワー ・ラジエータグリルローワーNo.1 ・付属品
<b>(2) フロントバンパカバー、フロントバンパラインホースメント取替</b>	
1. 10	取外し状態 ・ラジエータグリルサブAssy (倉) 作業および部品 ・フロントサイドメンバエクステンションラインホースメント ・フロントバンパエネルギーアブソーバ ・フロントバンパエネルギーアブソーバサブAssy ・フロントバンパカバーローワー ・両側フロントバンパホールカバー ・ラジエータグリルローワーNo.1 ・両側ラジエータサイドエアシールNo.2脱着 ・付属品
フォグランプ 1. 20	取外し状態 ・ラジエータグリルサブAssy (倉) 作業および部品 ・両側フォグランプAssy ・両側フォグランプカバー ・フロントサイドメンバエクステンションラインホースメント ・フロントバンパエネルギーアブソーバ ・フロントバンパエネルギーアブソーバサブAssy ・フロントバンパカバーローワー ・ラジエータグリルローワーNo.1 ・両側ラジエータサイドエアシールNo.2脱着 ・付属品
<b>④ 新增項目</b>	
<b>フロントスポイラカバーセンタ</b>	
0. 30増	取外し状態 ・フロントバンパカバー (倉) 作業および部品 ・両側フロントスポイラカバー ・ラジエータグリルサブAssy
・ラジエータサイドエアシールNo.2は左側の部品名称、右側の部品名称はラジエータサイドエアシールNo.1となる	

① フロントバンパカバー

② ラジエータグリルローワーNo.1

③ フロントバンパカバーローワー

※1 コメント無し  
① フロントバンパホールカバー (両側)

※2 コメント「フォグランプ」  
 (フォグランプ)  
 ① フォグランプカバー (両側)  
 ① フォグランプAssy (両側)  
 フォグランプバルブ  
 フォグランプユニット

ラジエータサポート  
 オープニングカバー  
 ※フロントバンパエネルギーアブソーバサブAssy

↑ 構成部品の違い ↓

図4 トヨタ カローラフィールダー 160系の指数テーブルと作業範囲

表1 指数テーブル各欄の説明

図4の番号	説明
①指数	<p>フォグランプ無し（コメント無し）とフォグランプ付き、2つの指数が設定されています。</p> <p>&lt;オプションの取扱い&gt;                      フォグランプ、コーナポールおよびコーナセンサなどがディーラオプションとして取付けられていることがあります。ディーラオプションは指数の対象としておりませんので、オプションの内容をよく確認し、指数を適用してください。</p>
②取外し状態	<p>この指数は、ラジエータグリルサブ Assy が取外された状態からの作業であることを示しています。</p> <p>&lt;取外し状態の考え方&gt;                      取外し状態は指数を作成するための前提条件であり、実際に作業を行うための必要条件ではありません。取外し状態に記載されている部品は、取外さなければ作業が不可能な場合と、取外さなくても作業が可能な場合とがあります。</p>
③(含)作業および部品	<p>フォグランプ無しとフォグランプ付きで、含まれている作業や部品が異なります（※1、2の部分）。</p> <p>&lt;フォグランプ無しとフォグランプ付きでの作業の違い&gt;                      フォグランプ付きバンパカバーの作業には、構成部品の組替作業以外に必要なフォグランプ焦点調整作業も含まれています。</p>
④割増項目	<p>フロントスポイラカバーセンタが取付けられている場合、指数に加算して使用します。</p> <p>&lt;割増項目が設定される場合&gt;                      コメント分けされた個々の指数に、単純に作業追加となる部品や作業がある場合に設定されています。</p>

それでは、実際の仕様を想定し計算してみます。

フォグランプ無し・フロントスポイラカバーセンタ付きの仕様について、フロントバンパカバーを取替る場合の指数は 1.20 となります。（図5）

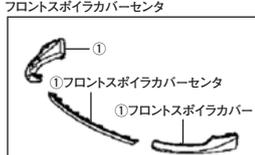
バンパカバーのみ取替  
0.90



0.90

+

フロントスポイラカバーセンタの取替  
0.30



0.30増

=

1.20

B020	
(1)フロントバンパカバー取替	
	取外し状態 ・ラジエータグリルサブ Assy (含)作業および部品 ・フロントバンパカバー取替 ・フロントバンパカバーローワー ・側面フロントバンパポールカバー ・ラジエータグリルローワー ・付属品
0.90	
フォグランプ	取外し状態 ・ラジエータグリルサブ Assy (含)作業および部品 ・側面フォグランプ Assy ・側面フォグランプカバー ・フロントバンパエネルギーアブソーバサブ Assy ・フロントバンパカバーローワー ・ラジエータグリルローワー ・フォグランプ焦点調整 ・付属品
1.00	
(2)フロントバンパカバー、フロントバンパラインホームメント取替	
1.10	取外し状態 ・ラジエータグリルサブ Assy (含)作業および部品 ・フロントサイドメンバーエクステンションラインホームメント ・フロントバンパエネルギーアブソーバ ・フロントバンパエネルギーアブソーバサブ Assy ・フロントバンパカバーローワー ・側面フロントバンパポールカバー ・ラジエータグリルローワー ・側面ラジエータサイドエアシールNo.2脱着 ・付属品
フォグランプ	取外し状態 ・ラジエータグリルサブ Assy (含)作業および部品 ・側面フォグランプ Assy ・側面フォグランプカバー ・フロントサイドメンバーエクステンションラインホームメント ・フロントバンパエネルギーアブソーバ ・フロントバンパエネルギーアブソーバサブ Assy ・フロントバンパカバーローワー ・フロントバンパカバーローワー ・ラジエータグリルローワー ・側面ラジエータサイドエアシールNo.2脱着 ・フォグランプ焦点調整 ・付属品
1.20	
割増項目	
フロントスポイラカバーセンタ	
0.30増	取外し状態 ・フロントバンパカバー (含)作業および部品 ・側面フロントスポイラカバー ・ラジエータグリルサブ Assy
*ラジエータサイドエアシールNo.2は左側の部品名称、右側の部品名称はラジエータサイドエアシールNo.1となる	

図5 トヨタ カローラフィールダー 160系 フロントバンパカバー取替の指数テーブル使用例

### 3-2. ラジエータグリルに関する指数 (指数項目B030)

#### (1) 対象部品

ラジエータグリルは、その本体およびエンブレムなどから構成されており、主にボルトやスクリュで車体に取付けられています (図1)。



ラジエータグリル

図1 ラジエータグリルの主な構成部品

#### (2) 作業範囲

指数には上記部品の脱着作業と取替作業が設定されています。それぞれの作業範囲は次のとおりです。

##### ①ラジエータグリル脱着作業

脱着作業は、ラジエータグリルを車体から取外し、再度取付ける作業です (図2)。



図2 ラジエータグリル脱着作業のイメージ

**ポイント:** ラジエータグリル脱着指数が設定されるのは、ラジエータグリルを単独で取外すことが出来る構造の場合です。ラジエータグリルがフロントバンパと一体で外せる構造の場合、ラジエータグリルはフロントバンパの脱着指数に含んでいます。

##### ②ラジエータグリル取替作業

取替作業は、損傷したラジエータグリルを車体から取外し、構成部品を新品ラジエータグリルに組替えた後、再度車体に取り付ける作業です (図3)。

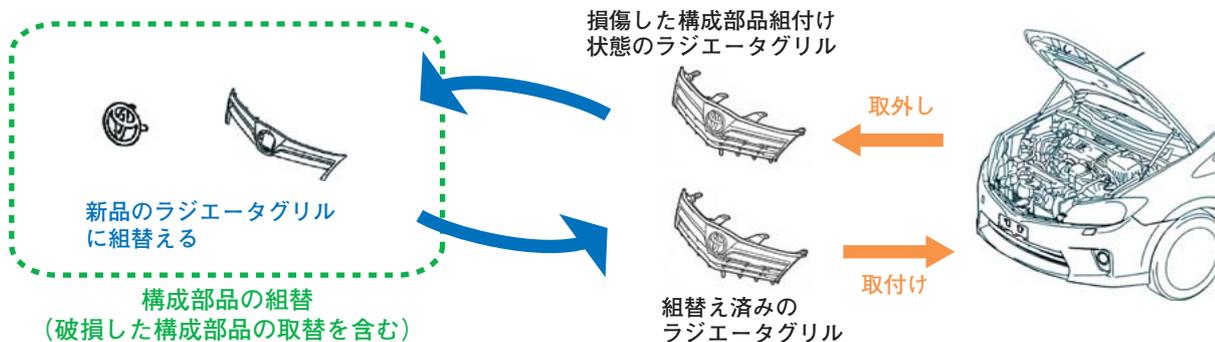


図3 ラジエータグリル取替作業のイメージ

(3) 具体例

ラジエータグリルの指数テーブルを見てみましょう。図4は「日産 エルグランド E52系」の指数テーブルと作業範囲、表1はその説明です。

B030	
①	(1)フロントグリルAssy脱着
0.20	取外し状態 — (含)作業および部品 —
②	(2)フロントグリルAssy取替
0.40	取外し状態 — (含)作業および部品 ・ヘッドランプラベル取替 ・ラジエータグリルモールディングAssy ・ラジエータグリルエンブレム ・付属品
③	割増項目
	フロントビューカメラAssy
0.10増	取外し状態 ・フロントグリルAssy (含)作業および部品 —

①  


②  


③  


図4 日産 エルグランド E52系の指数テーブルと作業範囲

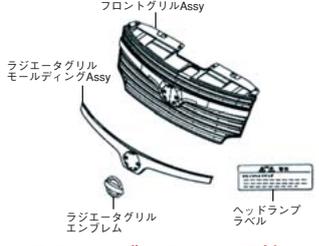
図4の番号	説明
①② 指数作業項目	指数作業項目として①脱着、②取替の作業が設定されています。
③割増項目	フロントビューカメラが取付けられている場合、指数に加算します。 <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     &lt;割増項目が設定される場合&gt;                      グレードや装備品の有無により発生する場合としない場合がある作業は、割増項目として指数を設定しています。                 </div>

表1 指数テーブル各欄の説明

※フロントビューカメラのキャリブレーション作業について

カメラを脱着または取替えた際に必要な、キャリブレーション作業（車内ディスプレイに表示されるカメラ画面上のガイド線の調整など）は、指数に含まれておりません。

それでは、実際に指数を使ってみましょう。損傷したフロントビューカメラ付きのフロントグリルAssyを取外し、新品に取替える場合を想定します。この場合の指数は0.50になります（図5）。



**フロントグリルAssy取替**  
0.40

+



**フロントビューカメラAssy取替**  
0.10

||

0.50

B030	
(1)フロントグリルAssy脱着	
	取外し状態
(2)フロントグリルAssy取替	
0.40	取外し状態 — (含)作業および部品 ・ヘッドランプラベル取替 ・ラジエータグリルモールディングAssy ・ラジエータグリルエンブレム ・付属品
割増項目	
フロントビューカメラAssy	
0.10増	取外し状態 ・フロントグリルAssy (含)作業および部品 —

図5 日産 エルグランド E52系 ラジエータグリル取替の指数テーブル使用例

### 3-3. ヘッドランプに関する指数(指数項目B040)

#### (1) 対象部品

ヘッドランプは、その本体である「ヘッドランプユニット（以下ユニット）」と「バルブ」や「ソケット」などから構成されており、主にボルトやスクリユで車体に取り付けられています（図1）。



図1 ヘッドランプの主な構成部品

#### (2) 部品の補給形態

ヘッドランプの構成部品が補給されるパターン（以下部品補給形態）には、

- ① ユニットに構成部品が組付けられた状態での補給（アッセンブリ補給、以下 Assy 補給）
- ② ユニットおよび構成部品ごとの個別補給
- ③ ①と②の同時設定

の3通りがあります（図2）。

また、ヘッドランプ取付部分のみが損傷した場合に、取付部分のみが取替えできるよう、補修用ヘッドランプブラケットが設定されている車種もあります。

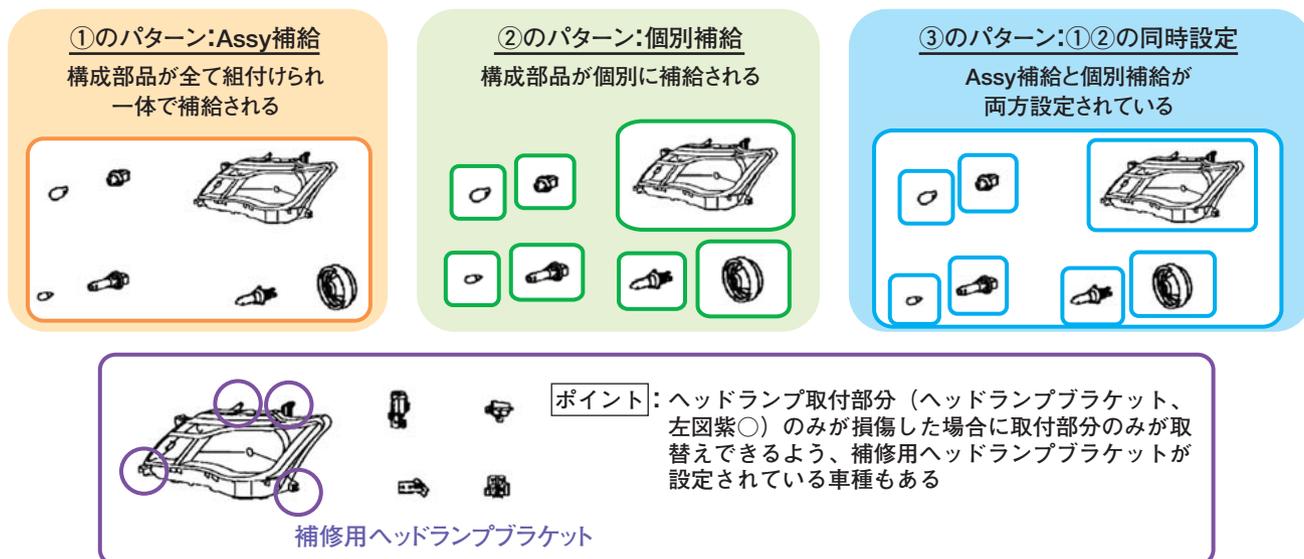


図2 部品補給形態のイメージ

### (3) 作業範囲

指数にはヘッドランプの脱着作業と取替作業が設定されています。それぞれの作業範囲は次のとおりです。

#### ①ヘッドランプ脱着作業

脱着作業は、ヘッドランプを構成部品が組付けられた状態で車体から取外し、再度取付けた後、両側ヘッドランプの焦点調整を行う作業です(図3)。指数には片側と両側の脱着作業が設定されており、いずれも両側の焦点調整作業\*が含まれています。

\*焦点調整作業：ヘッドランプの光の向きを調整する作業



図3 ヘッドランプ脱着作業のイメージ

#### ②ヘッドランプ取替作業

取替作業は、損傷したヘッドランプを構成部品が組付けられた状態で車体から取外し、新品に取替、車両に再度取付けた後に両側ヘッドランプの焦点調整を行う作業です。取替作業には、部品補給形態に応じて次の3通りの作業範囲が設定されています。

##### a. Assy 補給のみの場合：「ヘッドランプ Assy 取替」

損傷したヘッドランプを Assy 補給される新品ヘッドランプに取替える「ヘッドランプ Assy 取替」が設定されています。(図4)

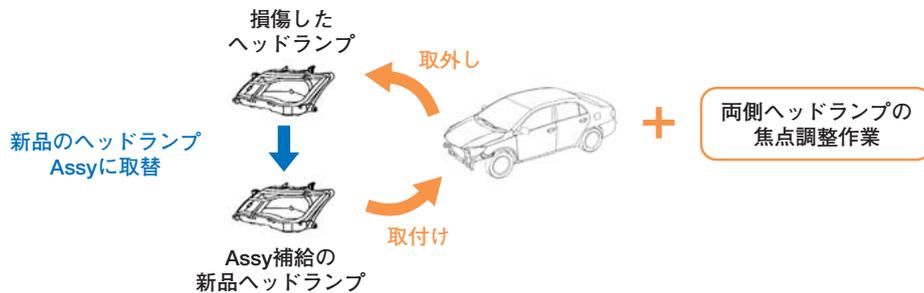


図4 ヘッドランプ Assy取替作業のイメージ

##### b. 個別補給のみの場合：「ヘッドランプ取替」

損傷したヘッドランプを補給部品単位まで分解して新しいユニットに組替える「ヘッドランプ取替」作業が設定されています(図5)。

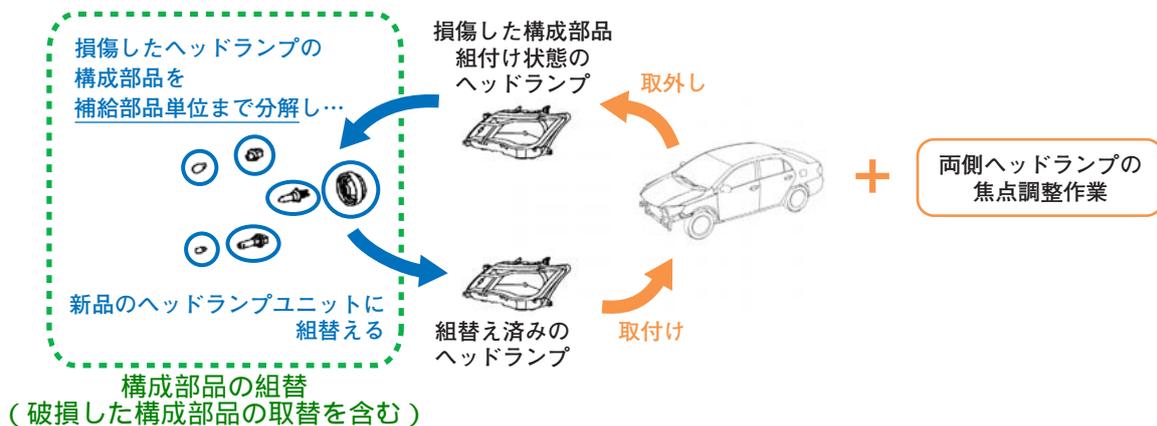


図5 ヘッドランプ取替作業のイメージ

- c. Assy 補給と個別補給が同時に設定される場合:「ヘッドランプ Assy 取替・ヘッドランプユニット取替」
- a. 「ヘッドランプ Assy 取替」に加えて「ユニット取替」が設定されています。「ユニット取替」は、構成部品を一体で取外せるものは一体で取外して新しいユニットに組替える作業です (図6)。

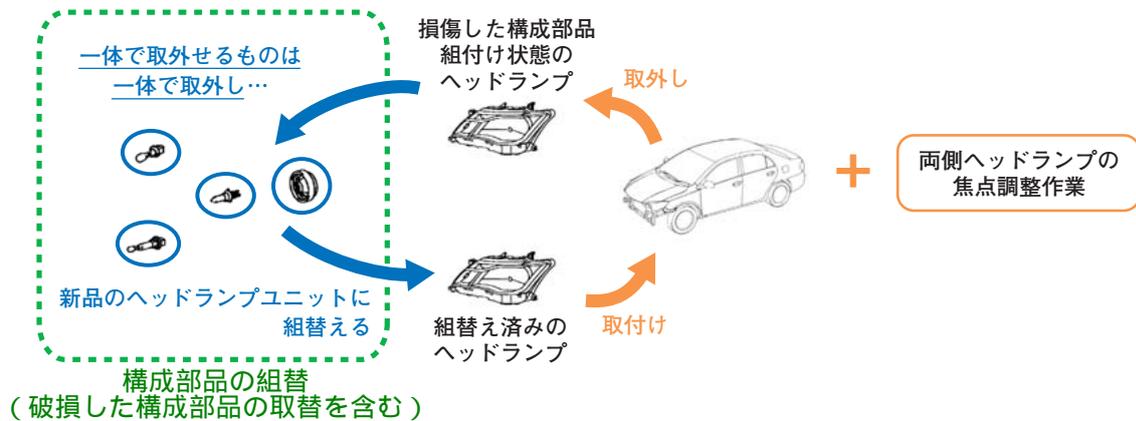


図6 ヘッドランプユニット取替作業のイメージ

なお、指数の作業範囲は指数作成時点の部品補給形態に基づいて設定しています。その後に部品補給形態が変更されることもありますので、指数の作業範囲と部品補給形態とをよくご確認ください。

#### (4) 具体例

それでは、実際に指数テーブルを見てみましょう。図7は「トヨタ カローラアクシオ 160系」の指数テーブルと作業範囲、表1はその説明です。

B040		
①	(1)片側ヘッドランプAssy設置	
※2	0.30	取外し状態 ・フロントバンパカバー ・ラジエータグリルサブ Assy (倉)作業および部品 ・焦点調整 ※1
①	(2)両側ヘッドランプAssy設置	
※2	0.40	取外し状態 ・フロントバンパカバー ・ラジエータグリルサブ Assy (倉)作業および部品 ・焦点調整 ※1
②	(3)片側ヘッドランプAssy取替	
	0.30	取外し状態 ・フロントバンパカバー ・ラジエータグリルサブ Assy
	ディスチャージ	(倉)作業および部品 ・焦点調整 ※1
	0.40	・付属品
②	(4)両側ヘッドランプAssy取替	
	0.40	取外し状態 ・フロントバンパカバー ・ラジエータグリルサブ Assy
	ディスチャージ	(倉)作業および部品 ・焦点調整 ※1
	0.50	・付属品
③	(5)片側ヘッドランプユニット取替	
	0.40	取外し状態 ・フロントバンパカバー ・ラジエータグリルサブ Assy ・クリアランスランプソケット ・フロントターンシグナルランプソケット ・ヘッドランプNo.1バルブ ・ヘッドランプカバーNo.1 ・焦点調整 ※1 ・付属品
	ディスチャージ	取外し状態 ・フロントバンパカバー ・ラジエータグリルサブ Assy (倉)作業および部品 ・クリアランスランプソケット ・ヘッドランプライトコントロールコンピュータ Assy ・焦点調整 ※1 ・付属品
③	(6)両側ヘッドランプユニット取替	
		取外し状態
④	新増項目 補修用ヘッドランプブラケット取替	
	0.10増	取外し状態 ・フロントバンパカバー ・ラジエータグリルサブ Assy (倉)作業および部品 -
		・ヘッドランプユニット取替とはバルブ類を再使用し、ヘッドランプユニットを取替る作業 ・補修用ヘッドランプブラケット取替はヘッドランプブラケットが損傷した場合に補修用ヘッドランプブラケット1個を取替る作業

②

③

ヘッドランプユニット取替

④

補修用ヘッドランプブラケット取替

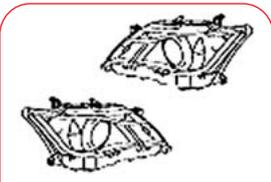
図7 トヨタ カローラアクシオ 160系の指数テーブルと作業範囲 (一部抜粋)

表1 指数テーブル各欄の説明

図7の番号	説明
①②③ 指数作業 項目	<p>指数作業項目として①脱着、②Assy 取替、③ユニット取替があり、それぞれに「片側」と「両側」の作業が設定されています。</p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <b>&lt;焦点調整作業&gt;</b>                      焦点調整作業は脱着、取替、片側、両側を問わず、常に両側の作業が含まれています(※1)。                      したがって、片側作業の指数を2倍しても両側作業の指数と同じにはなりません(※2)。                       なお、ディスチャージやHIDヘッドランプなどのオートレベリング機能の初期位置学習作業は指数に含まれておりません。                 </p>
④割増項目	<p>ヘッドランプブラケット1個を補修用ヘッドランプブラケットに取替える場合に加算します。</p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <b>&lt;補修用ヘッドランプブラケット取替&gt;</b>                      補修用ヘッドランプブラケットが設定されている場合、この指数が設定されます。                      補修用ヘッドランプブラケット取替作業はヘッドランプを外した状態からの作業で、指数はヘッドランプブラケット1個を取替える場合の数字です。                 </p>

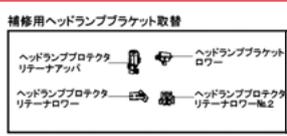
それでは、実際に指数を使ってみましょう。

両側ヘッドランプ Assy を取外し、損傷したヘッドランプブラケットを2個取替える場合を想定します。  
この場合の指数は0.60になります(図8)。



両側ヘッドランプ脱着  
0.40

+



補修用ヘッドランプブラケット2個取替  
0.10×2個=0.20

||

0.60

B040	
(1)片側ヘッドランプAssy脱着	
0.30	取外し状態 ・フロントバンパカバー ・ラジエータグリルサブAssy (倉)作業および部品 ・焦点調整
(2)両側ヘッドランプAssy脱着	
0.40	取外し状態 ・フロントバンパカバー ・ラジエータグリルサブAssy (倉)作業および部品 ・焦点調整
(3)片側ヘッドランプAssy取替	
0.30	取外し状態

割増項目	
補修用ヘッドランプブラケット取替	
0.10増	取外し状態 ・フロントバンパカバー ・ラジエータグリルサブAssy (倉)作業および部品 ...
・ヘッドランプユニット取替とはバルブ類を再使用し、ヘッドランプユニットを取替る作業 ・補修用ヘッドランプブラケット取替はヘッドランプブラケットが損傷した場合に補修用ヘッドランプブラケット1個を取替る作業	

図8 トヨタ カローラアクシオ 160系 ヘッドランプ脱着の指数テーブル使用例

### 3-4. ボンネットに関する指数 (指数項目B060、B070)

#### (1) 対象部品

ボンネットは、その本体およびボンネットシールやボンネットインシュレータなどから構成されており主にボルトで車体に取り付けられています (図6)。



図6 ボンネットの主な構成部品

#### (2) 作業範囲

指数には上記部品の脱着作業と取替作業が設定されています。それぞれの作業範囲は次のとおりです。

##### ① ボンネット脱着作業

脱着作業は、ボンネットを車体から取外し、再度取付ける作業です (図7)。取付け作業には、周囲のパネルとの隙間や段差を調整する作業 (立付調整作業) を含んでいます。

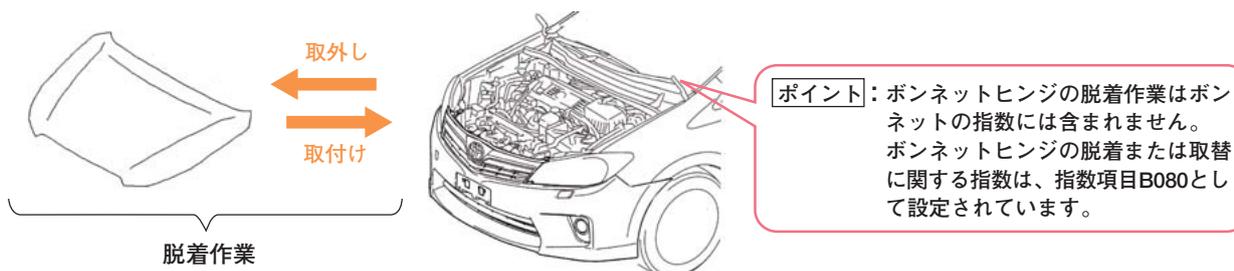


図7 ボンネット脱着作業のイメージ

##### ② ボンネット取替作業

取替作業は、損傷したボンネットを車体から取外し、構成部品を塗装後の新品ボンネットに組替えた後、再度車体に取り付ける作業です (図8)。取付け作業には、立付調整作業を含んでいます。

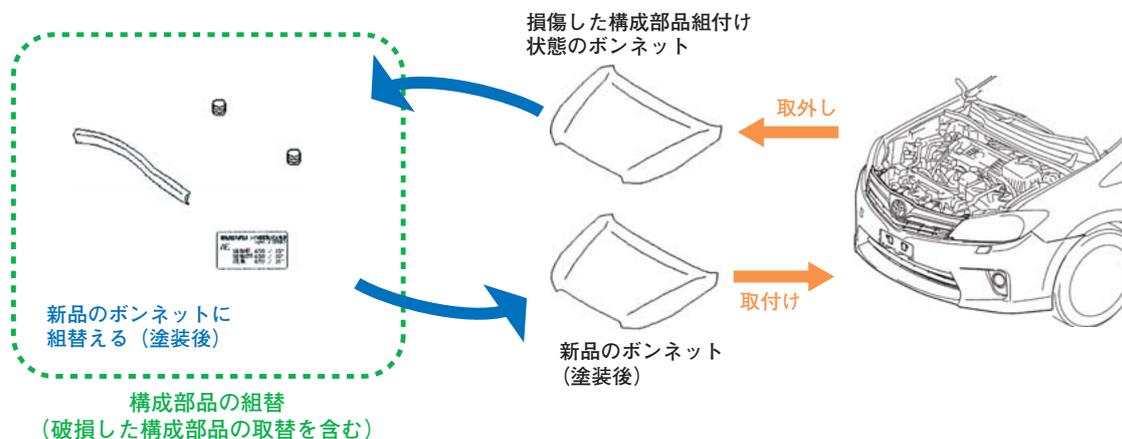


図8 ボンネット取替作業のイメージ

(3) 具体例

ボンネットの指数テーブルを見てみましょう。図9は「スバル インプレッサ G4 GJ2・3・6・7系」の指数テーブルと作業範囲、表2はその説明です。

B070	
<b>① (1)フロントフードCOMP取替</b>	
取外し状態	—
0.40	<p>※1</p> <p>②</p> <p>(含)作業および部品</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコンディショナラベル取替</li> <li>・エミッションコントロールラベル取替</li> <li>・両側フロントフードAパツファ</li> <li>・フロントフードシール</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両側フロントフードストツバ</li> <li>・フロントフードストライカ</li> <li>・付属品</li> <li>・立付調整</li> </ul>
<b>③ 割増項目</b>	
フロントフードインシュレータ	
取外し状態	—
0.10増	(含)作業および部品
・[除]フロントフードヒンジCOMP	

①

②

※1 再使用不可部品

- ×エアコンディショナラベル
- ×エミッションコントロールラベル

③

図9 スバル インプレッサG4 GJ2・3・6・7系の指数テーブルと作業範囲

図9の番号	説明
<b>① 指数作業項目</b>	指数作業項目として取替の作業が設定されています。
<b>② (含)作業および部品欄の取替表示</b>	再使用が出来ないと判断した構成部品は、部品名の後ろに「取替」が表示されます(※1)。
<b>③ 割増項目</b>	<p>フロントフードインシュレータが取付けられている場合、指数に加算します。</p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 5px;">&lt;割増項目が設定される場合&gt;</p> <p>グレードや装備品の有無により発生する場合としない場合がある作業は、割増項目として指数を設定しています。</p>

表2 指数テーブル各欄の説明

それでは、実際に指数を使ってみましょう。損傷したフロントフードインシュレータ付きのフロントフードCOMPを取外し、新品に取替える場合を想定します。この場合の指数は0.50になります(図10)。

フロントフードCOMP取替  
0.40

+

フロントフードインシュレータ取替  
0.10

=

0.50

B070	
<b>(1)フロントフードCOMP取替</b>	
取外し状態	—
0.40	<p>(含)作業および部品</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコンディショナラベル取替</li> <li>・エミッションコントロールラベル取替</li> <li>・両側フロントフードAパツファ</li> <li>・フロントフードシール</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両側フロントフードストツバ</li> <li>・フロントフードストライカ</li> <li>・付属品</li> <li>・立付調整</li> </ul>
<b>割増項目</b>	
フロントフードインシュレータ	
取外し状態	—
0.10増	(含)作業および部品
・[除]フロントフードヒンジCOMP	

図10 スバル インプレッサG4 GJ2・3・6・7系 ボンネット取替の指数テーブル使用例

### 3-5. フロントフェンダに関する指数 (指数項目B100、B110)

#### (1) 対象部品

フロントフェンダは、その本体およびフロントフェンダライナ、ボデーロックパネルモールディングなどから構成されており、主にボルトで車体に取り付けられています (図1)。

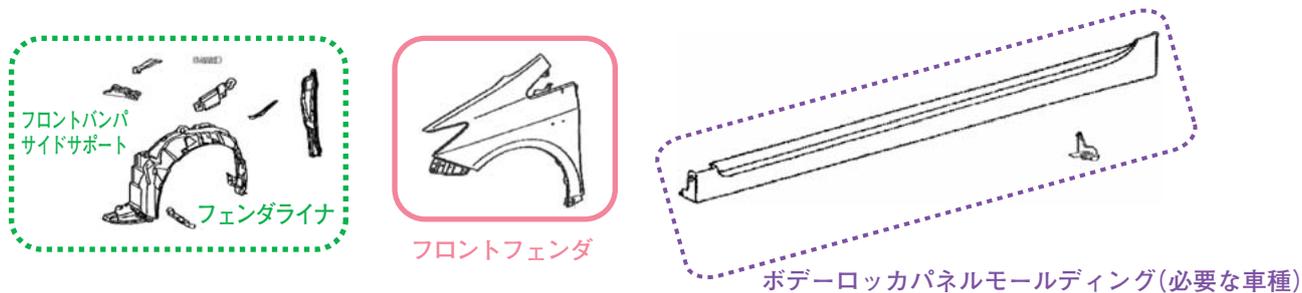


図1 フロントフェンダの主な構成部品 (例 プリウス PHV 35系)

#### (2) 作業範囲

指数には上記部品の脱着作業と取替作業が設定されています。それぞれの作業範囲は次のとおりです。

##### ① フロントフェンダ脱着作業

脱着作業は、ボデーロックパネルモールディング、フロントフェンダライナおよびフロントフェンダを車体から順に取外し、再度取付ける作業です (図2)。

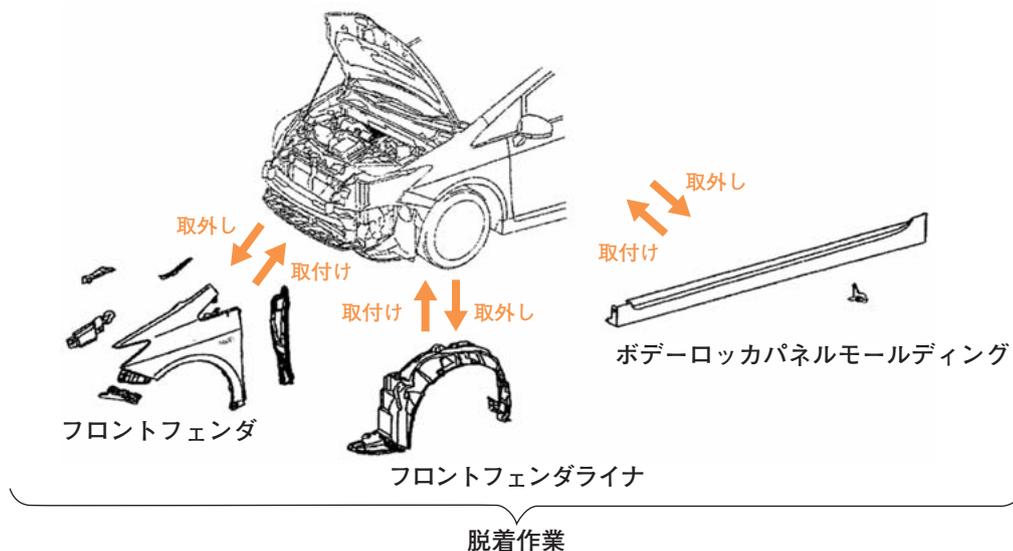


図2 フロントフェンダ脱着作業のイメージ (プリウス PHV 35系)

## ②フロントフェンダ取替作業

取替作業は、ボデーロックアップネルモールディング、フロントフェンダライナおよびフロントフェンダを車体から順に取外し、新品フロントフェンダ取付け後、構成部品を新品フロントフェンダに組替え、フロントフェンダライナおよびボデーロックアップネルモールディングを再度車体に取付ける作業です。

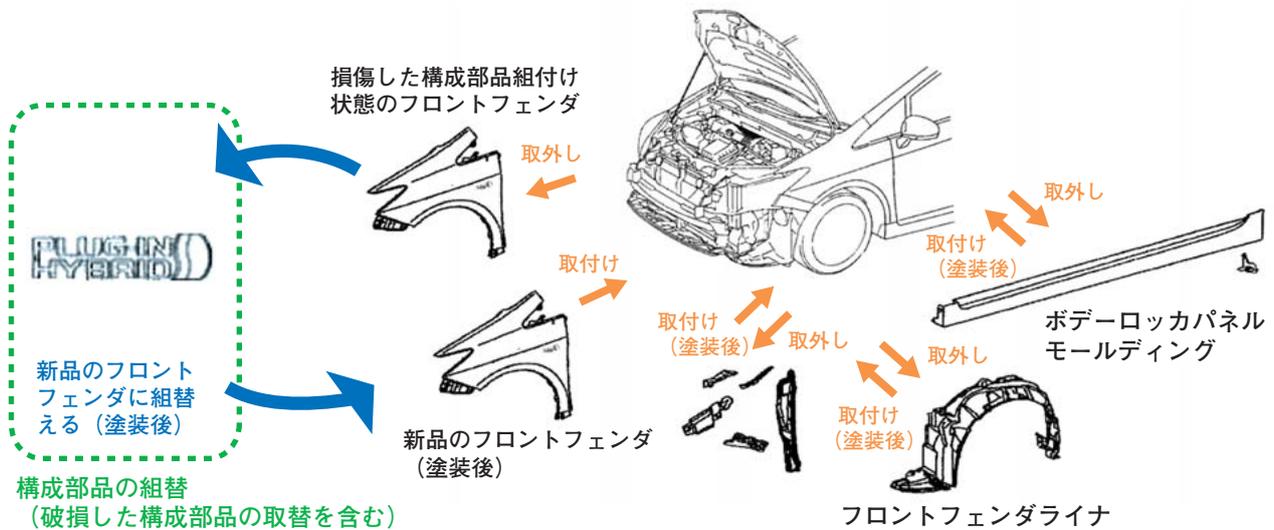


図3 フロントフェンダ取替作業のイメージ

## (3) 具体例

フロントフェンダの指数テーブルを見てください。図4は、「トヨタ プリウス PHV 35系」の指数テーブルと作業範囲、表1はその説明です。

B110	
①	(1)片側フェンダサブAssyフロント取替
②	取外し状態 ・フロントバンパカバー ・ヘッドランプAssy ・ボデーロックアップネルモールディングAssy
0.60	③ (含)作業および部品 ・カウルサイドベンチレータサブAssy脱着 ・サイドパネルエンブレム取替 ・フロントバンパサイドサポート脱着 ・フロントフェンダサイドパネルプロテクタ脱着 ・フロントフェンダトゥーカウルサイドシール脱着 ・フロントフェンダプロテクタアッパ脱着 ・付属品
④	割増項目 片側ボデーロックアップネルモールディングAssy
0.30増	取外し状態 — (含)作業および部品 ・リヤホイールハウスプレートフロント脱着

①

フェンダサブAssyフロント

③

カウルサイドベンチレータサブAssy  
フロントバンパサイドサポート  
フロントフェンダプロテクタアッパ  
フロントフェンダライナ  
フロントホイールオープニングエクステンションパッド  
サイドパネルエンブレム  
フロントフェンダトゥーカウルサイドシール  
フロントフェンダサイドパネルプロテクタ

④

ボデーロックアップネルモールディングAssy  
リヤホイールハウスプレートフロント

図4 トヨタ プリウス PHV 35系の指数テーブルと作業範囲

図4の番号	説明
① 指数作業項目	指数作業項目として取替の作業が設定されています。
② 取外し状態	この指数は、フロントバンパカバー、ヘッドランプAssy、ボデーロックパネルモールディング Assyが取外された状態からの作業であることを示しています。 <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p>&lt;取外し状態の考え方&gt;</p> <p>取外し状態は指数を作成するための前提条件であり、実際に作業を行うための必要条件ではありません。取外し状態に記載されている部品は、取外さなければ作業が不可能な場合と、取外さなくても作業が可能な場合とがあり、取外しの要否については個別に判断が必要です。</p> </div>
③ (含)作業および部品	指数では、フロントフェンダサブAssyの取替作業に作業上通常必要とされる部品を全て含み、それを記載しています。 <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p>&lt;記載される部品名称&gt;</p> <p>作業項目の内容をより明確にするために、記載する部品の名称はできるだけ多くしていますが、細部品(スクリュー、クリップ、ホールプラグ、クッションシール等)は「付属品」として個別の記載はしていません。</p> </div>
④ 割増項目	指数に加算して使用します。 <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p>&lt;割増項目が設定される場合&gt;</p> <p>グレードや装備品の有無により、割増項目として指数を設定します。          なお、全車標準装備で共通する場合であっても、他の指数作業項目(例:クォータパネル取替)の前提条件で取外し状態となる部品の場合には割増項目を設定します。</p> </div>

表1 指数テーブル各欄の説明

それでは、実際に指数を使ってみましょう。ボデーロックパネルモールディング Assy が取付いた片側フェンダサブ Assy フロントを取外し、新品に取替える場合を想定します。この場合の指数は0.90になります(図5)

**フェンダサブAssyフロント取替**  
0.60

B110	
(1) 片側フェンダサブAssyフロント取替	
<b>0.60</b>	取外し状態 ・フロントバンパカバー ・ヘッドランプAssy ・ボデーロックパネルモールディングAssy (含) 作業および部品 ・カウルサイドベンチレータサブAssy脱着 ・フロントフェンダツーカウルサイドシール脱着 ・サイドパネルエンブレム取替 ・フロントフェンダプロテクタアップ脱着 ・フロントバンパサイドサポート脱着 ・フロントフェンダライナ脱着 ・フロントフェンダサイドパネルプロテクタ脱着 ・付属品
割増項目	
片側ボデーロックパネルモールディングAssy	
<b>0.30増</b>	取外し状態 - (含) 作業および部品 ・リヤホイールハウスプレートフロント脱着

+

**ボデーロックパネルモールディングAssy脱着**  
0.30

||

**0.90**

**ポイント**：両面テープを使用して取付けられている場合、「脱着」と「取替」の2表示となります。「脱着」は、再使用のための両面テープの貼り替えや清掃作業を含むため、「取替」と指数値が異なる場合があります。

図5 トヨタ プリウス PHV 35系 片側フロントフェンダ取替の指数テーブル使用例

### 3-6. フロントドア・リヤドア・スライドドアに関する指数 (指数項目B200、B210、B215、B216)

#### (1) 対象部品

フロントドア・リヤドア・スライドドアは、いずれもドア本体およびドアトリム、ドアガラスなどから構成されており、ヒンジまたはローラを介して取付けられています (図1)。

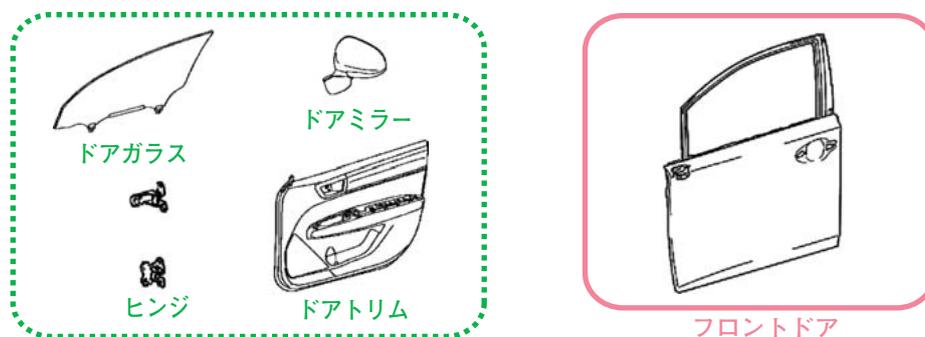


図1 ドアの主な構成部品 (フロントドアの例)

#### (2) 作業範囲

指数にはドアの脱着作業と取替作業が設定されています。いずれの作業も、ヒンジまたはローラはドアと一体で取外しますが、フロントドアの場合はフロントフェンダの有無により作業範囲が異なるため、車両の損傷範囲を考慮した作業範囲を設定しています。それぞれの作業範囲は次のとおりです。

##### ① 脱着作業

脱着作業は、ドアをヒンジまたはローラ部分で縁切りして取外し、再度取付ける作業です。ワイヤハーネスは車体側で縁切りしてドアと一体で脱着しますが、ワイヤハーネスを容易に縁切りできない場合はドアから取外して車体側に残します。取付け作業には周囲のパネルとの隙間や段差を調整する作業 (立付調整作業)、水漏れの有無を確認する作業 (水密テスト) を含んでいます。

##### a. フロントドア脱着作業

フロントドア脱着作業は、他の作業のためにフロントドアを取外す必要がある場合を想定しており、フロントフェンダが車体に取付けられた状態で、ヒンジを車体側に残す作業としています (図2)。

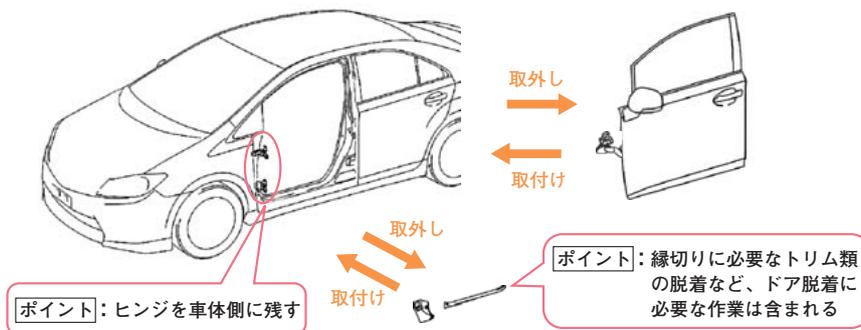


図2 フロントドア脱着作業のイメージ

## b. リヤドア脱着作業

リヤドア脱着作業は、リヤドアをヒンジと一体で車体から取外す作業です（図3）。

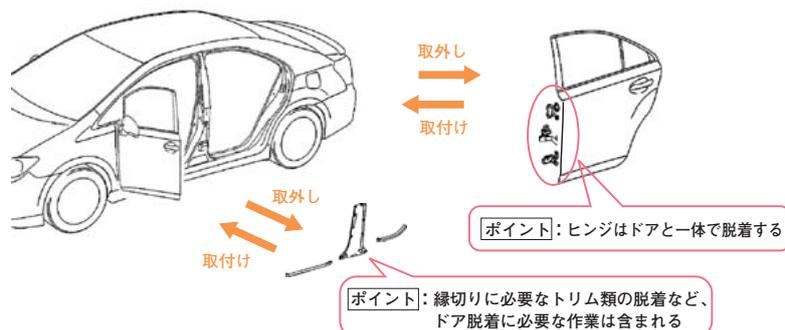


図3 リヤドア脱着作業のイメージ

## c. スライドドア脱着作業

スライドドア脱着作業は、スライドドアをローラと一体で車体から取外す作業です。ローラを車体から容易に取外すことができない場合は、ローラを車体側に残す作業としています（図4）

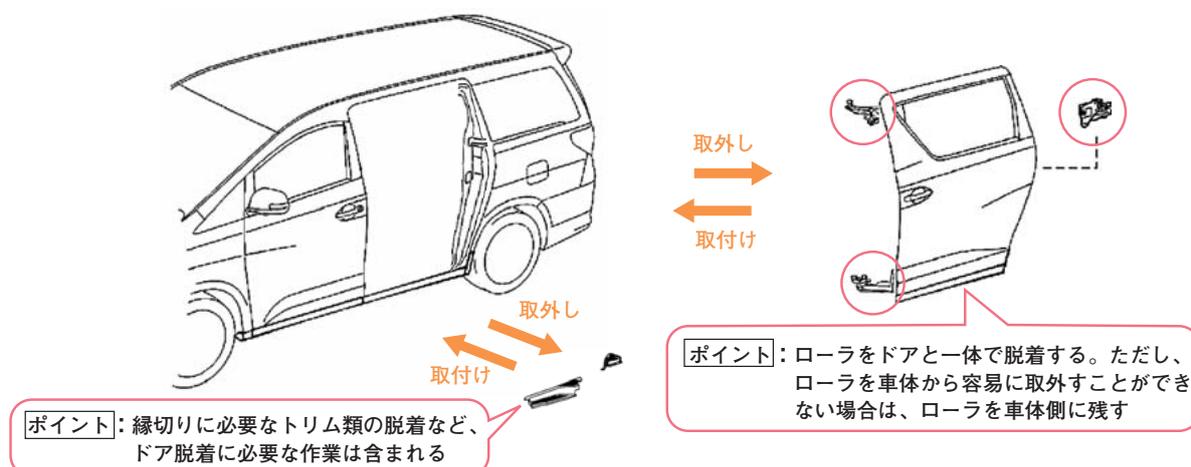


図4 スライドドア脱着作業のイメージ

## ②取替作業

取替作業は、損傷したドアを車体から取外し、新品ドアを車体に取り付けると共に構成部品を組替える作業です。取付け作業には、周囲のパネルとの隙間や段差を調整する作業（立付調整作業）、水漏れの有無を確認する作業（水密テスト）を含んでいます。

### a. フロントドア取替作業

フロントドア取替作業は、損傷したフロントドアを車体から取外し、新品フロントドアを車体に取り付けた後、構成部品を組替える作業です。車両の損傷内容の違いを考慮して2通りの作業範囲を設定しています。

#### (a) フロントドア（フロントフェンダ取付状態）取替作業（図5）

車両側面の損傷等でフロントフェンダを取外さずにフロントドアを取替える場合を想定しています。従って、フロントフェンダが取付けられた状態で、ヒンジを車体に残してフロントドアを取替える作業としています。

#### (b) フロントドア（フロントフェンダ取外し状態）取替作業

フロントドアの取替だけではなく、フロントフェンダ・フロントピラーの修理を伴う場合などを想定しています。従って、フロントフェンダが取外された状態で、ヒンジをフロントドアと一体で取外す作業としています。構成部品の組替として、ヒンジの組替が含まれます。

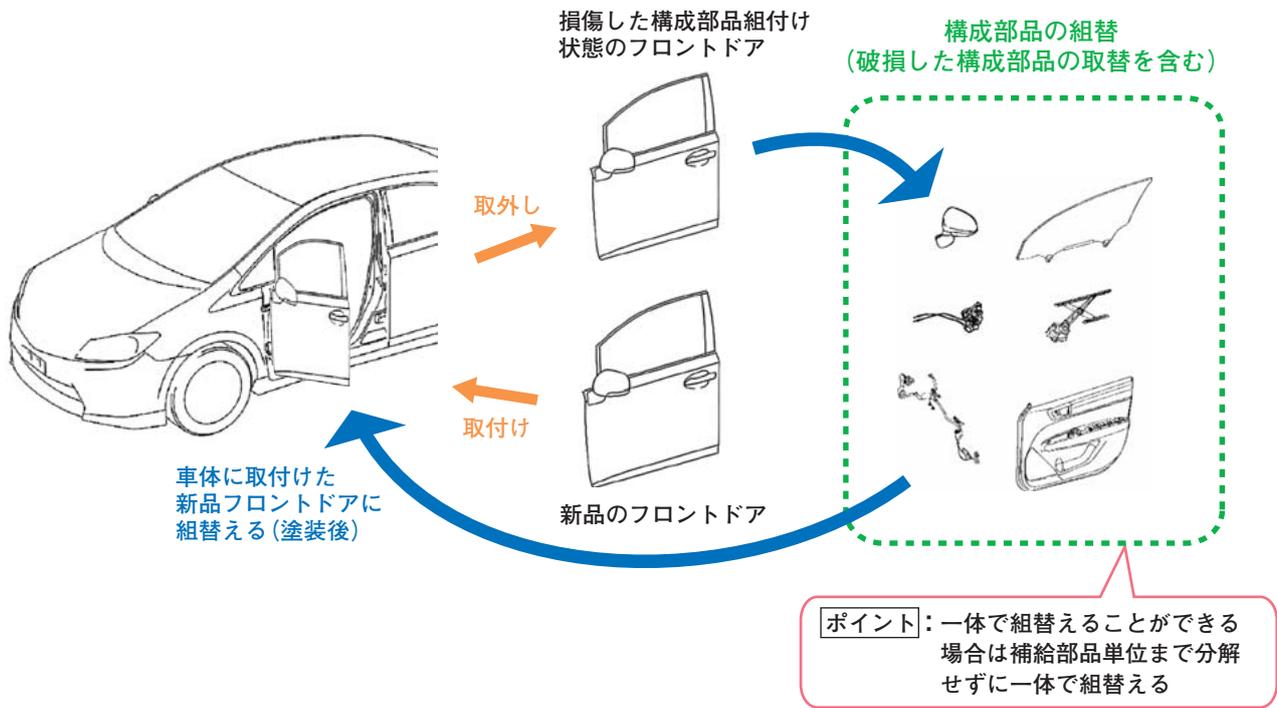


図5 フロントドア (フロントフェンダ取付状態) 取替作業のイメージ

b. リヤドア取替作業

リヤドア取替作業は、損傷したリヤドアをヒンジと一体で車体から取外し、新品リヤドアを車体に取付けた後、構成部品を組替える作業です。

c. スライドドア取替作業

スライドドア取替作業は、損傷したスライドドアをローラと一体で車体から取外し、構成部品を新品スライドドアに組替えた後、車体に取付ける作業です (図6)。

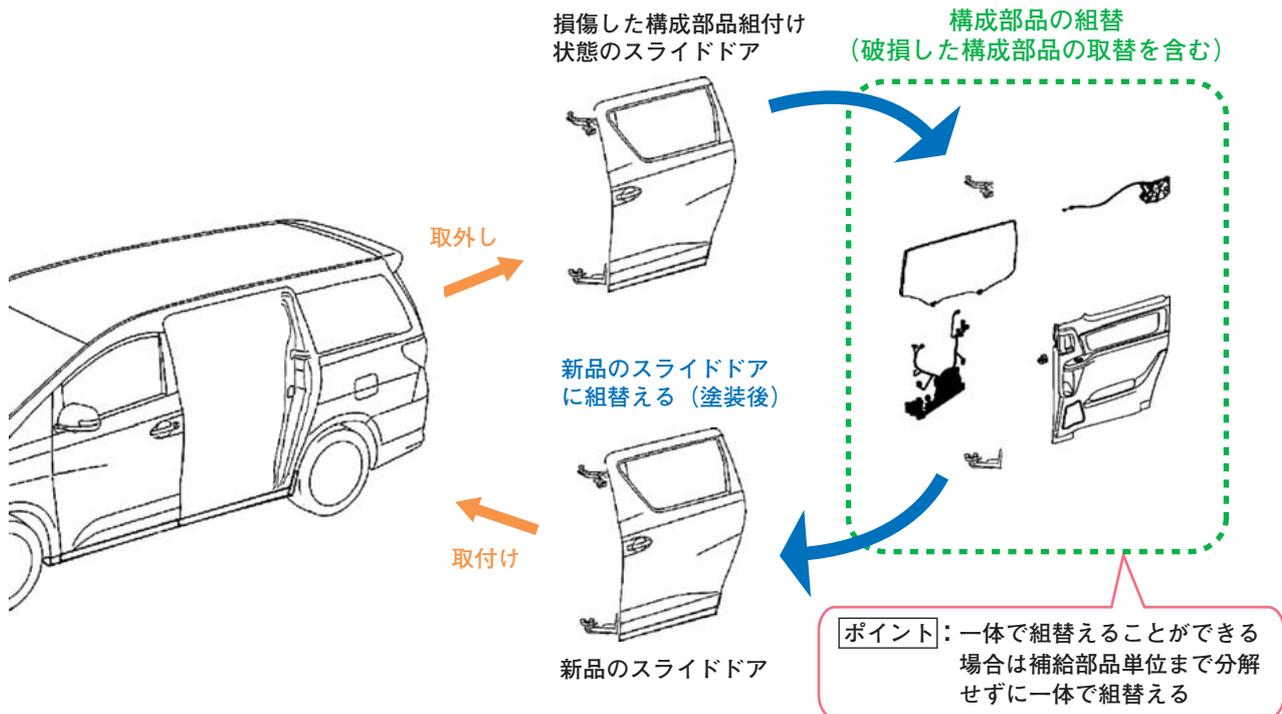


図6 スライドドア取替作業のイメージ

(3) 具体例

フロントドアの指数テーブルを見てください。図7は、「ホンダ フィット GK3・4・5・6、GP5・6系」の指数テーブルと作業範囲、表1はその説明です。

B200	
<b>① (1)片側フロントドアパネルCOMP(フロントフェンダパネル取付状態)脱着</b>	
0. 50	取外し状態 —
	(含) 作業および部品 ⑤ ・ハーネス緑切 ・水密テスト ・立付調整
・フロントドアパネルCOMP(フロントフェンダパネル取付状態)はヒンジをボデー側に残しての作業	
B210	
<b>② (1)片側フロントドアパネルCOMP(フロントフェンダパネル取付状態)取替</b>	
1. 90	取外し状態 —
	(含) 作業および部品 ⑤ ・ドアミラーAssy ・フロントアライニングAssy ・ハーネス緑切 ・水密テスト ・付属品 ・立付調整
<b>③ (2)片側フロントドアパネルCOMP(フロントフェンダパネル取外し状態)取替</b>	
1. 90	取外し状態 ④ ・フロントバンパフェイス ・ヘッドライトAssy ・ボンネットCOMP ・フロントフェンダパネル ・サイドシルガーニッシュAssy
	(含) 作業および部品 ⑤ ・ドアミラーAssy ・フロントドアアップヒンジ ※1 ・フロントアライニングAssy ・フロントアローアヒンジ ・ハーネス緑切 ・水密テスト ・付属品 ・立付調整
<b>⑥ 割増項目</b>	
<b>片側フロントドアサッシュテープセット取替</b>	
0. 20増	取外し状態 —
	(含) 作業および部品 —
・フロントドアパネルCOMP(フロントフェンダパネル取付状態)はヒンジをボデー側に残しての作業	

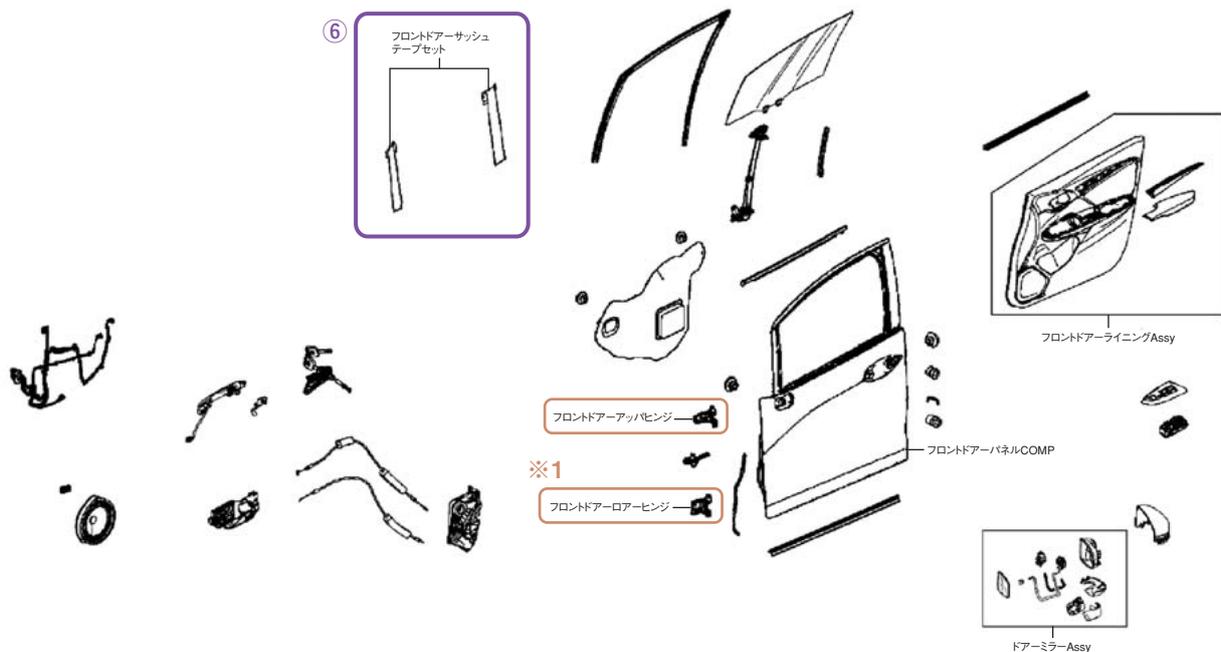


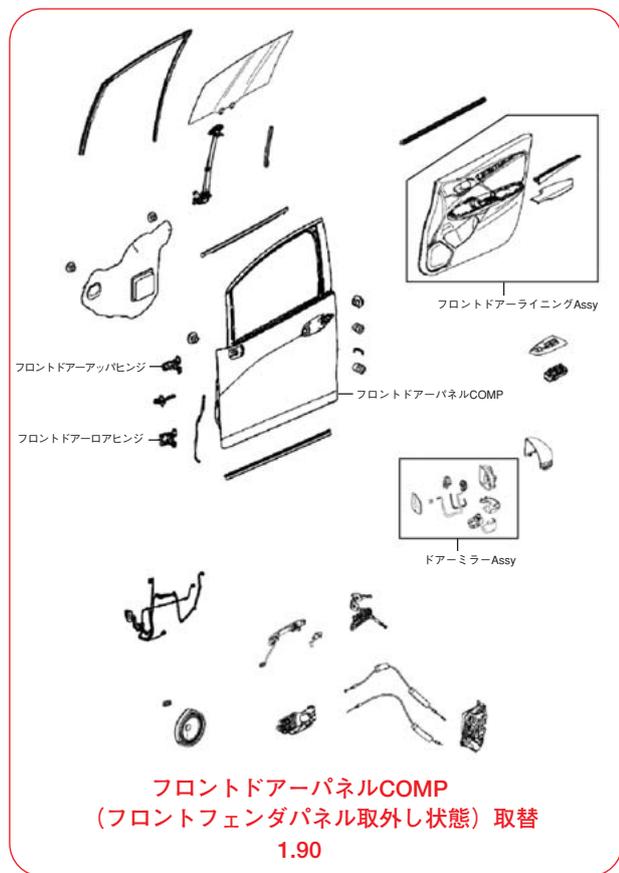
図7 ホンダ フィット GK3・4・5・6、GP5・6系の指数テーブルと作業範囲

表1 指数テーブル各欄の説明

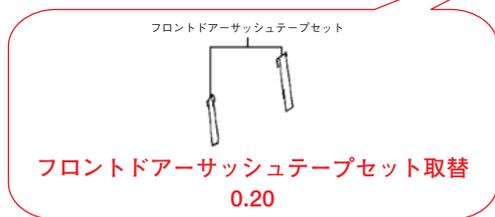
図7の番号	説明
<p>①②③ 指数作業 項目</p>	<p>指数作業項目として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①フロントフェンダパネル取付状態での脱着作業</li> <li>②フロントフェンダパネル取付状態での取替作業</li> <li>③フロントフェンダパネル取外し状態での取替作業</li> </ul> <p>が設定されています。</p>
<p>④ 取外し状態</p>	<p>③フロントフェンダパネル取外し状態での取替は、フロントバンパフェイス、ヘッドライトAssy、ボンネットCOMP、フロントフェンダパネル、サイドシルガーニッシュAssyが取外された状態からの作業であることを示しています。</p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 5px;">                 &lt;取外し状態の考え方&gt;                  取外し状態は指数を作成するための前提条件であり、実際に作業を行うための必要条件ではありません。取外し状態に記載されている部品は、取外さなければ作業が不可能な場合と、取外さなくても作業が可能な場合とがあり、取外しの要否については個別に判断が必要です。             </p>
<p>⑤ (含)作業 および部品</p>	<p>③フロントフェンダパネル取外し状態での取替は、フロントドアアッパヒンジおよびフロントドアローアヒンジをドアと一体で取外す作業のため、両ヒンジが含まれています(※1)。</p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 5px;">                 &lt;記載される部品名称&gt;                  ドアは構成部品数が多いため、主要な構成部品以外は名称を記載していませんが、指数には作業上通常必要とされている部品をすべて含んでいます。             </p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 5px;">                 &lt;取替作業時の構成部品の組替&gt;                  ドア本体の構成部品は、一体で組替えることができる場合は補給部品単位まで分解せずに、一体で組替える作業です。             </p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 5px;">                 &lt;ディーラオプションの取扱い&gt;                  サイドバイザ、ドアエッジモール、サイドプロテクションモールなどがディーラオプションとして取付けられていることがあります。ディーラオプションは指数の対象としておりませんので、指数の作業には含んでおりません。             </p>
<p>⑥割増項目</p>	<p>フロントドアサッシュテープセットが貼り付けられている場合、指数に加算して使用します。</p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 5px;">                 &lt;割増項目が設定される場合&gt;                  グレードや装備品の有無により発生する場合としない場合がある作業は、割増項目として指数を設定しています。             </p>

それでは、実際に指数を使ってみましょう。

フロントドアサッシュテープセットが貼り付けられている片側フロントドアパネルCOMPをフロントフェンダパネルが取外された状態で取外し、新品に取替える場合を想定します。この場合の指数は2.10になります(図8)



+



||  
2.10

B200	
<b>(1) 片側フロントドアパネルCOMP(フロントフェンダパネル取付状態)脱着</b>	
取外し状態	—
0.50	(含) 作業および部品 ・ハーネス緑切 ・水密テスト ・立付調整
*フロントドアパネルCOMP(フロントフェンダパネル取付状態)はヒンジをボデー側に残しての作業	
B210	
<b>(1) 片側フロントドアパネルCOMP(フロントフェンダパネル取付状態)取替</b>	
取外し状態	—
1.90	(含) 作業および部品 ・ドアミラーAssy ・フロントドアライニングAssy ・ハーネス緑切 ・水密テスト ・付属品 ・立付調整
<b>(2) 片側フロントドアパネルCOMP(フロントフェンダパネル取外し状態)取替</b>	
取外し状態	—
1.90	(含) 作業および部品 ・フロントバンパフェイス ・ヘッドライトAssy ・ボンネットCOMP ・フロントフェンダパネル ・サイドシルガーニッシュAssy ・ドアミラーAssy ・フロントドアアッパヒンジ ・フロントドアライニングAssy ・フロントドアアローアヒンジ ・ハーネス緑切 ・水密テスト ・付属品 ・立付調整
割増項目	
<b>片側フロントドアサッシュテープセット取替</b>	
取外し状態	—
0.20増	(含) 作業および部品
*フロントドアパネルCOMP(フロントフェンダパネル取付状態)はヒンジをボデー側に残しての作業	

図8 ホンダ フィット GK3・4・5・6、GP5・6系  
片側フロントドアパネルCOMP取替の指数テーブル使用例

### 3-7. トランクパネル・バックドアに関する指数(指数項目B350、B360、B380、B390)

#### (1) 対象部品

トランクパネル・バックドアは、いずれもその本体およびトリム、ガーニッシュ、ステー、リヤコンビネーションランプ、スポイラなどから構成されており、ヒンジを介してボルト・ナットで車体に取り付けられています(図1、2)。

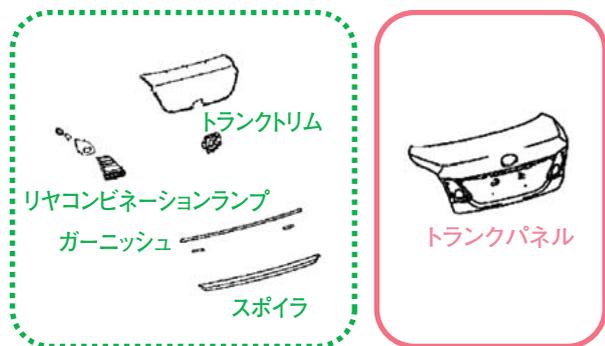


図1 トランクパネルの主な構成部品

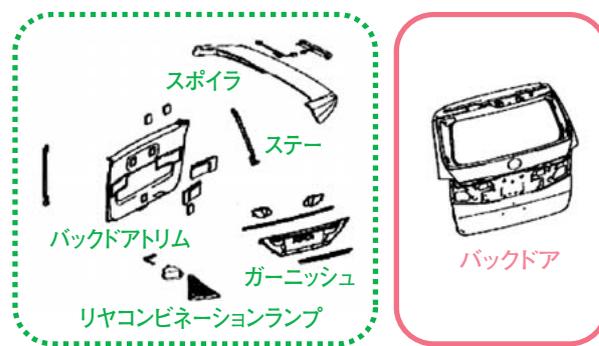


図2 バックドアの主な構成部品

#### (2) 作業範囲

指数には上記部品の脱着作業と取替作業が設定されています。それぞれの作業範囲は次のとおりです。

##### ①脱着作業

脱着作業は、トランクパネル・バックドアをヒンジ部分で縁切りして取外し、再度取付ける作業です(図3、4)。ワイヤハーネスは、車体側で縁切りできる場合はトランクパネル・バックドアと一体で、縁切りができない場合はトランクパネル・バックドアから取外し、車体側に残して作業します。取付け作業には周囲のパネルとの隙間や段差を調整する作業(立付調整作業)、水漏れの有無を確認する作業(水密テスト)を含んでいます。

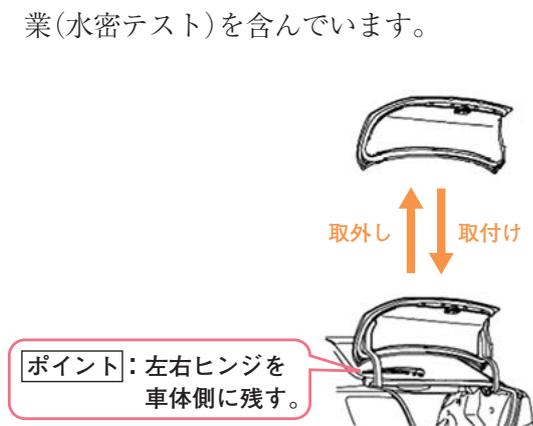


図3 トランクパネル脱着作業のイメージ

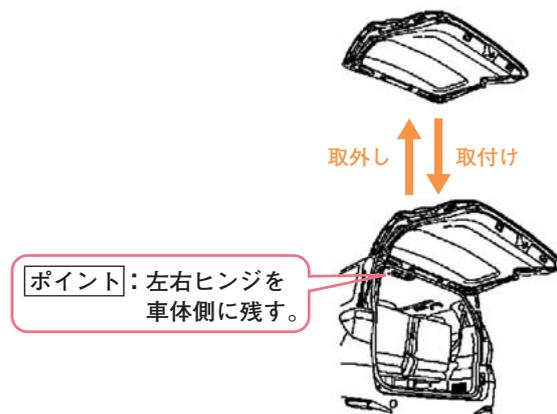


図4 バックドア脱着作業のイメージ

## ②取替作業

取替作業はトランクパネル・バックドアを車体から取外し、新品トランクパネル・バックドアを車体  
に取付けると共に構成部品を組替える作業です(図5、6)。取付け作業には周囲のパネルとの隙間や段  
差を調整する作業(立付調整作業)、水漏れの有無を確認する作業(水密テスト)を含んでいます。

リヤライセンスプレートの組替が必要な場合がありますが、本作業は封印が取付いているため法規  
上の点から指数には含みません(封印の取付かない軽自動車の場合はリヤライセンスプレートの組替を  
含む)。

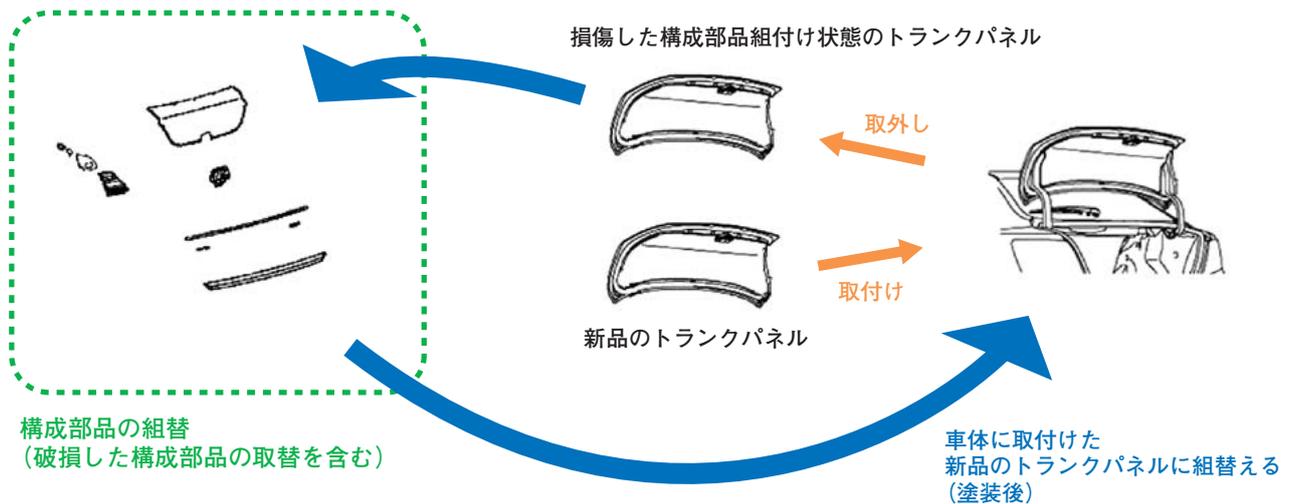


図5 トランクパネル取替作業のイメージ

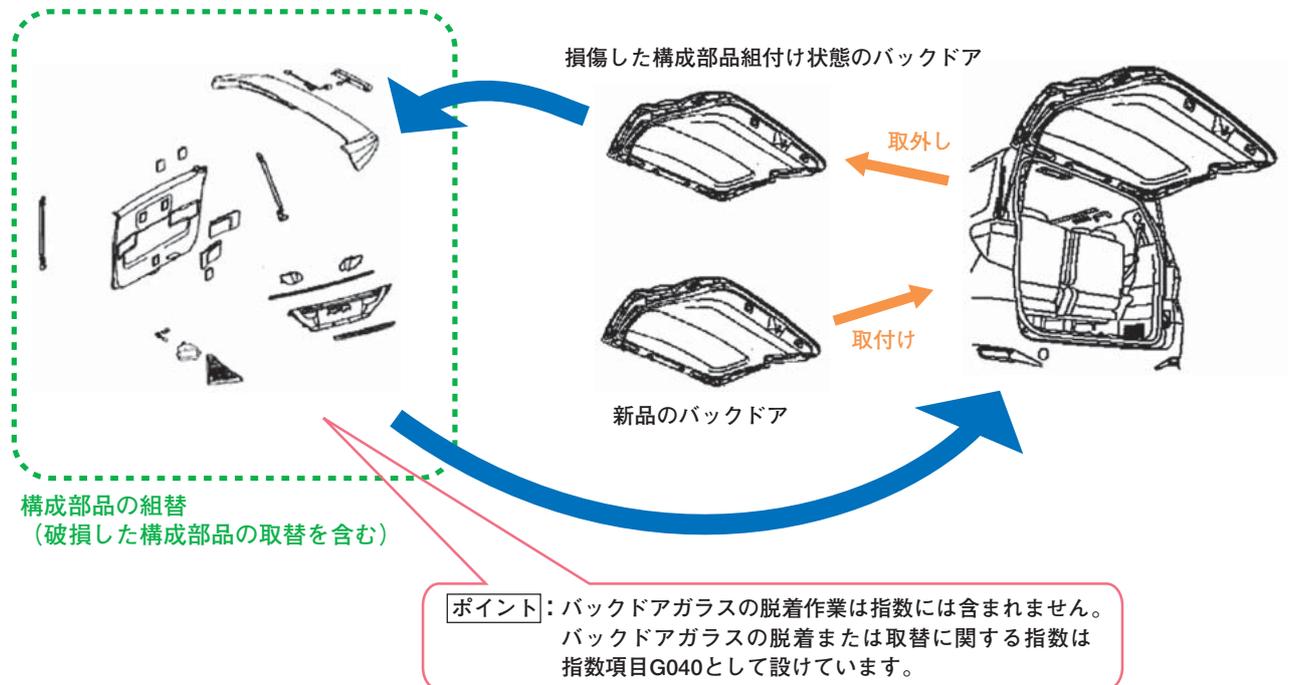


図6 バックドア取替作業のイメージ

(3) 具体例

バックドアの指数テーブルを見てみましょう。図7は、「ニッサン ラフェスタ ハイウェイスター CWFEN、CWEAWN系」の指数テーブルと作業範囲、表1はその説明です。

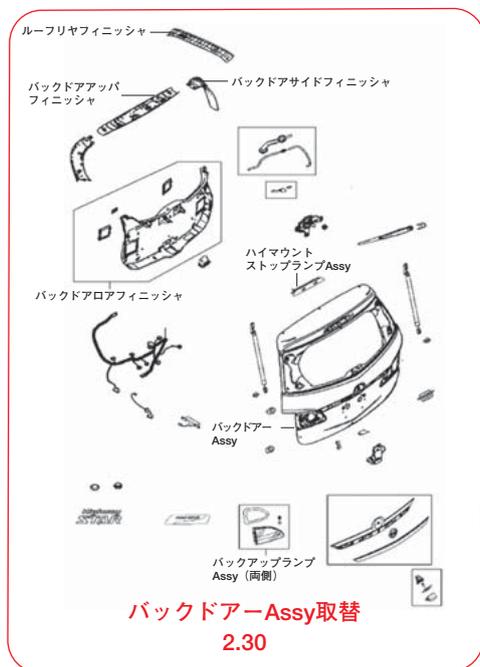
図7 ニッサン ラフェスタ ハイウェイスター CWFEN,CWEAWN系の指数テーブルと作業範囲

表1 指数テーブル各欄の説明

図7の番号	説明
①② 指数作業項目	<p>指数作業項目として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①バックドア Assy の脱着作業</li> <li>②バックドア Assy の取替作業</li> </ul> <p>が設定されています。</p>
③④ (含)作業および部品	<p>指数では、作業上通常必要とされる部品を全て含み、それを記載しています。ニッサン ラフェスタ ハイウェイスター CWFEN、CWEAWN 系では、バックドアとハーネスを縁切るために、車体側のルーフリヤフィニシヤを取外す必要があり、この脱着作業は指数に含まれます(※1の部分)。</p> <p>&lt;記載される部品名称&gt; バックドアは構成部品数が多いため、主要な構成部品以外は名称を記載していませんが、指数には作業上通常必要とされている部品をすべて含んでいます。</p> <p>&lt;取替作業時の構成部品の組替&gt; バックドア本体の構成部品は、一体で組替えることができる場合は補給部品単位まで分解せずに一体で組替える作業です。</p> <p>&lt;ディーラオプションの取扱い&gt; エアスポイラ、リヤカメラなどがディーラオプションとして取付られていることがありますが、ディーラオプションは指数の対象としておりませんので、注意が必要です。</p>
⑤割増項目	<p>メーカー装備のルーフェアスポイラ Assy が取付けられている場合、指数に加算して使用します。</p> <p>&lt;割増項目が設定される場合&gt; グレードや装備品の有無により発生する場合としない場合がある作業は、割増項目として指数を設定しています。</p>

それでは、実際に指数を使ってみましょう。

ルーフエアスポイラAssyが取付いたバックドア Assyを取外し、新品に取替る場合を想定します。  
この場合の指数は、2.40になります(図8)。



+



||  
2.40

<b>B380</b>	
<b>(1)バックドアAssy脱着</b>	
0.80	取外し状態 —
	(含)作業および部品 ・バックドアアップバフィニッシャ脱着 ・ルーフリアフィニッシャ脱着 ・ハーネス・ウォッシュホース緑切 ・水密テスト ・立付調整
	[除]バックドアヒンジAssy
<b>B390</b>	
<b>(1)バックドアAssy取替</b>	
2.30	取外し状態 —
	(含)作業および部品 ・ハイマウントストップランプAssy ・両側バックアップランプAssy ・バックドアアップバフィニッシャ脱着 ・両側バックドアサイドフィニッシャ ・バックドアアロアフィニッシャ ・ルーフリアフィニッシャ脱着 ・ハーネス・ウォッシュホース緑切 ・水密テスト ・付属品 ・立付調整
	[除]バックドアヒンジAssy
<b>割増項目</b>	
<b>ルーフエアスポイラAssy</b>	
0.10増	取外し状態 —
	(含)作業および部品 —
[除]バックドアヒンジAssy [除]バックドアウインドウガラス	

**ポイント**：エアスポイラが両面テープを使用して取付けられている場合、「脱着」と「取替」の2表示となることがあります。これは、「脱着」では再使用するための両面テープの貼り替えや清掃作業を含み、「取替」と指数値が異なるためです。

図8 ニッサン ラフェスタ ハイウェイスター CWFERN,CWEAWN系 バックドアAssy取替の指数テーブル使用例

### 3-8. リヤバンパに関する指数 (指数項目B410、B420)

#### (1) 対象部品

リヤバンパは、リヤバンパカバー、リヤバンパラインホースメント (以下ラインホース) およびリヤバンパカバーに取付くリフレクタなどから構成されており、主にボルト・クリップで車体に取り付けられています (図 1)。

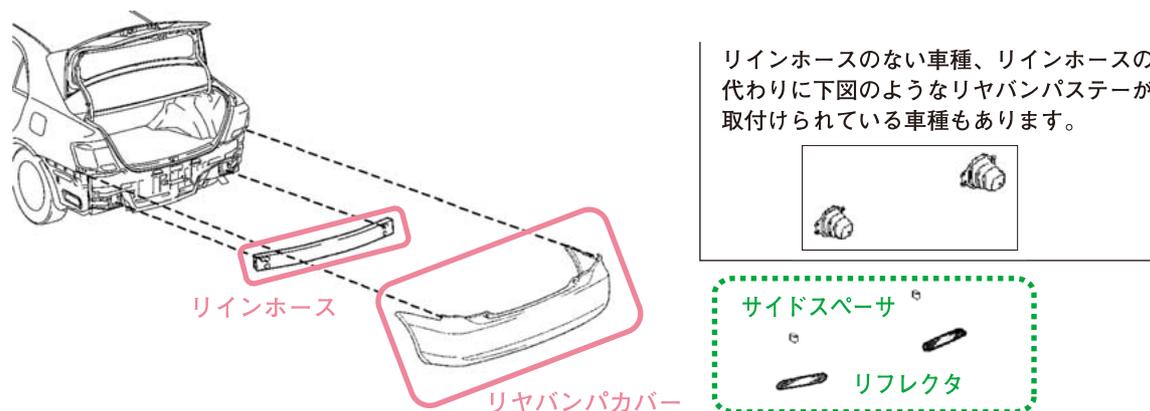


図 1 リヤバンパの主な構成部品

#### (2) 作業範囲

指数にはリヤバンパの脱着作業と取替作業が設定されています。それぞれの作業範囲は次のとおりです。

##### ① リヤバンパカバー、ラインホース脱着作業

脱着作業は、リヤバンパカバー、ラインホースを車体から取外し、再度取付ける作業です (図 2)。

リヤライセンスプレートの脱着が必要な場合がありますが、本作業は封印が取付いているため法規上の点から指数には含みません (封印の取付かない軽自動車の場合はリヤライセンスプレートの脱着を含む)。

また、リヤバンパカバー、ラインホースを取外した後にボデー側に残る部品の脱着は作業範囲に含まれておりませんので、ご注意ください。

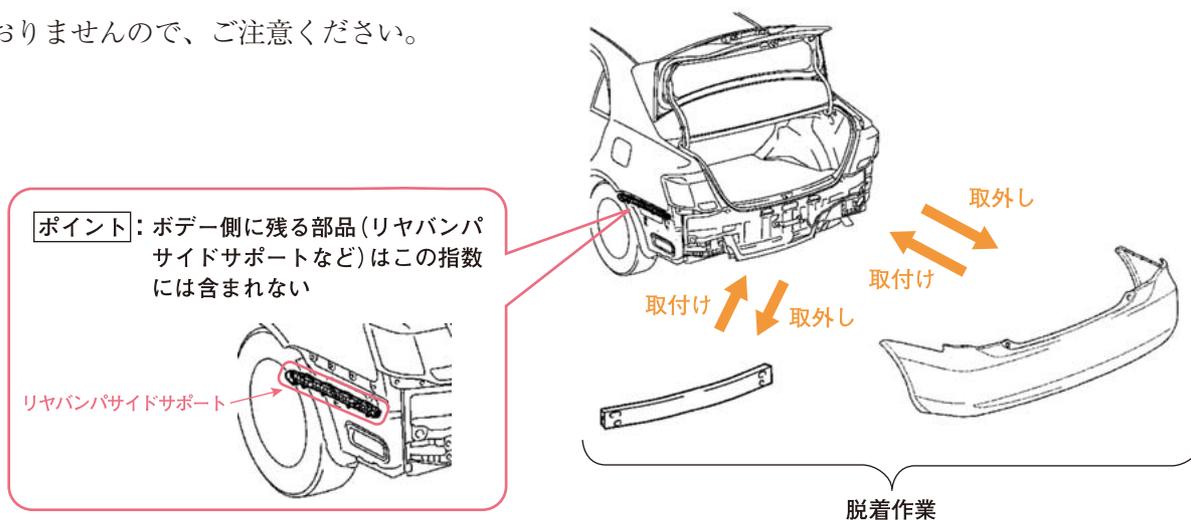


図 2 リヤバンパカバー、ラインホース脱着作業のイメージ

## ②リヤバンパカバー、ラインホース取替作業

取替作業は、リヤバンパカバー、ラインホースを車体から取外し、構成部品を新しいリヤバンパカバー、ラインホースに組替、再度車体に取り付ける作業です。図3はリヤバンパカバーのみを取替える場合の作業範囲を例示したものです。脱着作業同様、リヤバンパカバー、ラインホースを取外した後にボデー側に残る部品の脱着は作業範囲に含まれておりませんので、ご注意ください。

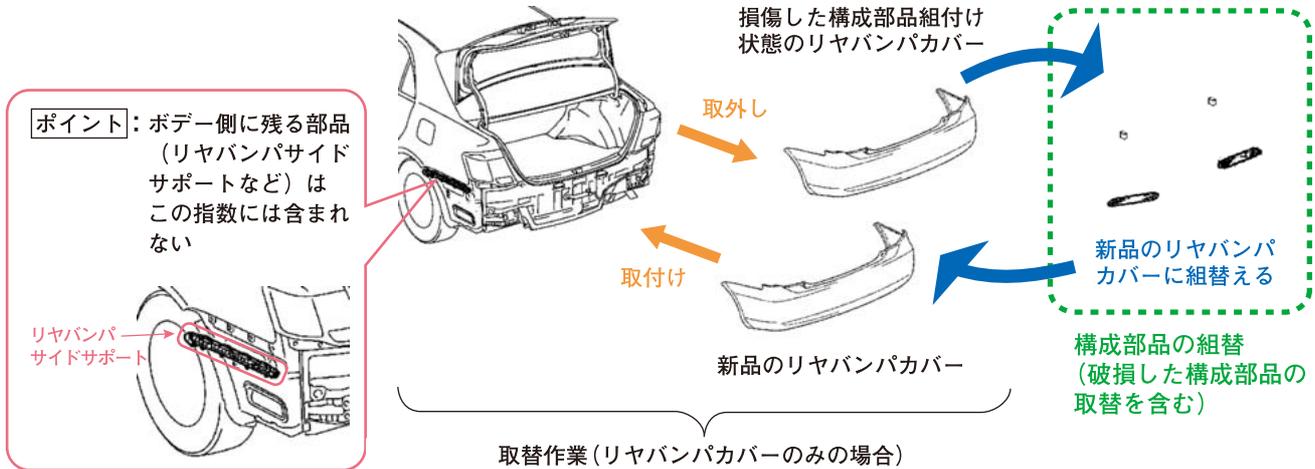


図3 リヤバンパカバー取替作業のイメージ

## (3) 具体例

以上の基本的な考え方を基に、「ニッサン スカイライン V37 系」の指数テーブル「B420 (2) リアバンパフェーシア、インナリアバンパセンタレインフォース取替」を例に、その内容を説明します。

B420	
①	<p><b>(1)リアバンパフェーシア取替</b></p> <p>取外し状態</p> <p>0. 90</p> <p>(含) 作業および部品</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トランクフロアカーベット脱着</li> <li>ラゲージリヤプレート脱着</li> <li>両側リアコンビネーションランプAssy脱着</li> <li>両側リアコンビネーションランプリム脱着</li> <li>両側リアバンパサイドスペーサ</li> <li>両側リアバンパサイドスペーサ</li> <li>両側リアフレックスリフレクタAssy</li> <li>付属品</li> </ul>
②	<p><b>(2)リアバンパフェーシア、インナリアバンパセンタレインフォース取替</b></p> <p>取外し状態</p> <p>1. 40</p> <p>(含) 作業および部品</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トランクフロアカーベット脱着</li> <li>ラゲージリヤプレート脱着</li> <li>両側リアコンビネーションランプAssy脱着</li> <li>両側リアコンビネーションランプリム脱着</li> <li>両側リアバンパサイドスペーサ</li> <li>両側リアバンパステイ</li> <li>両側リアバンパリアリテーナ</li> <li>両側リアフレックスリフレクタAssy</li> <li>付属品</li> </ul>
③	<p><b>割増項目</b></p> <p><b>フロント&amp;バックソナー</b></p> <p>取外し状態</p> <p>0. 20増</p> <p>(含) 作業および部品</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両側リアバンパフェーシア</li> <li>両側リアバンパカバー取替</li> <li>両側リアバンパカバー取替</li> <li>両側ディスタンスセンサAssy</li> <li>両側ディスタンスセンサAssy</li> </ul>
④	<p>ディスタンスセンサAssy (両側) → ×カバー (両側)</p> <p>ディスタンスセンサAssy (両側) → ×カバー (両側)</p>

②

リアバンパフェーシア

インナリアバンパセンタレインフォース

③

トランクフロアカーベット

ラゲージリヤプレート

リアコンビネーションランプAssy (両側)

リアコンビネーションランプリム (両側)

リアバンパステイ

リアバンパリアリテーナ (両側)

リアバンパサイドスペーサ (両側)

リアフレックスリフレクタAssy (両側)

※1 リアバンパフェーシア取外しに必要な車体側部品は指数に含まれる

図4 ニッサン スカイライン V37 系の指数テーブルと作業範囲

表 1 指数テーブル各欄の説明

図 4 の 番 号	説 明
①②指数	<p>指数作業項目として取替の作業が設定されています。</p> <p>①リアバンパフェーシアのみの取替作業 ②リアバンパフェーシアおよびインナリアバンパセンタレインフォースの取替作業が設定されています。</p>
③(含)作業および部品	<p>指数では、作業上通常必要とされる部品を全て含み、それを記載しています。スカイライン V37系は、リアバンパフェーシアの取外しに左右リアコンビネーションランプAssyおよび室内側トリムの一部を先に取外す必要があり、これらの脱着作業は指数に含まれています(※1の部分)。</p> <p>&lt;含まれる主な作業&gt; リアバンパの取外しに、リアコンビネーションランプおよび室内側トリムの脱着が必要な車種は、これらの作業も指数に含まれています。</p> <p>&lt;ディーラオプションの取扱い&gt; コーナセンサ、バックソナーセンサ、リアカメラなどがディーラオプションとして取付けられていることがあります。ディーラオプションは指数の対象としておりませんので、オプションの内容をよく確認し、指数を適用してください。</p>
④割増項目	<p>フロント&amp;バックソナーが取付けられている場合、指数に加算して使用します。</p> <p>&lt;割増項目が設定される場合&gt; グレードや装備品の有無により発生する場合としない場合がある作業は、割増項目として指数を設定しています。</p>

それでは、実際の仕様を想定し計算してみます。

フロント&バックソナー付きの仕様について、リアバンパフェーシアを取替える場合の指数は 1.10 になります(図5)。

**リアバンパフェーシアのみの取替**  
0.90

+

**フロント&バックソナーの取替**  
0.20

=

1.10

B420	
<b>(1)リアバンパフェーシア取替</b>	
	取外し状態 -
<b>0.90</b>	<p>(含)作業および部品</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トランクフロアカーベット脱着</li> <li>・ラゲージリアプレート脱着</li> <li>・両側リアコンビネーションランプAssy脱着</li> <li>・両側リアコンビネーションランプリム脱着</li> <li>・両側リアバンパサイドスベーク</li> <li>・両側リアリフレックスリフレクタAssy</li> <li>・付属品</li> </ul>
<b>(2)リアバンパフェーシア、インナリアバンパセンタレインフォース取替</b>	
	取外し状態 -
1.40	<p>(含)作業および部品</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トランクフロアカーベット脱着</li> <li>・ラゲージリアプレート脱着</li> <li>・両側リアコンビネーションランプAssy脱着</li> <li>・両側リアコンビネーションランプリム脱着</li> <li>・両側リアバンパサイドスベーク</li> <li>・両側リアバンパステイ</li> <li>・両側リアバンパリアリテーナ</li> <li>・両側リアリフレックスリフレクタAssy</li> <li>・付属品</li> </ul>
<b>割増項目</b>	
<b>フロント&amp;バックソナー</b>	
	取外し状態 -
<b>0.20増</b>	<p>・リアバンパフェーシア</p> <p>(含)作業および部品</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両側カバー取替</li> <li>・両側ディスタンスセンサAssy</li> <li>・両側カバー取替</li> <li>・両側ディスタンスセンサAssy</li> </ul>

図 5 ニッサン スカイライン V37 系 リアバンパフェーシア取替の指数テーブル使用例

### 3-9. クォータパネル取替の指数（指数項目 B270）

#### (1) 対象部品

クォータパネル取替の指数は、クォータパネル本体およびフューエルリッド、クォータパネル本体の取替作業を行う際に、先に取り外す必要のあるリヤコンビネーションランプ、デッキートリムサイドパネル、などから構成されており、クォータパネル本体は主にスポット溶接で車体に取り付けられています。

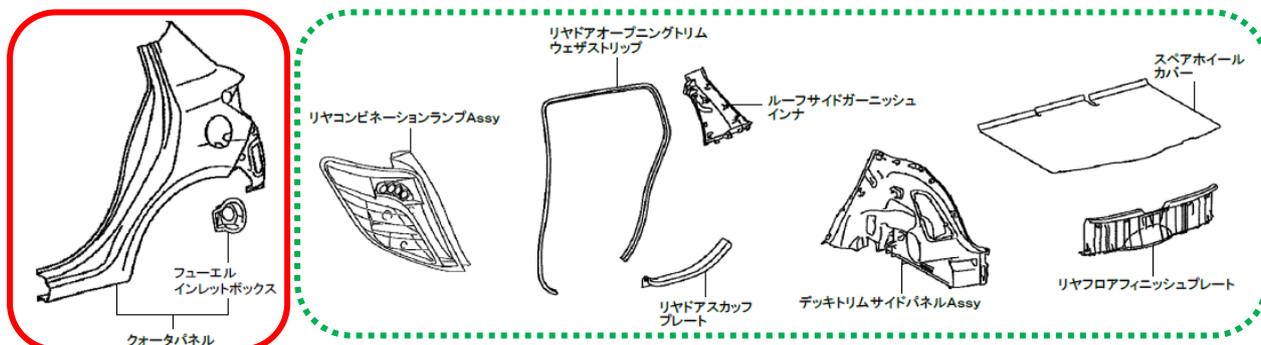


図1 B270 クォータパネル取替の主な構成部品

#### (2) 作業範囲

クォータパネル取替の指数は、トリムやテールランプなど付属品を取り外し（図2 ①）、次に損傷したクォータパネルを車体から取り外し（図2 ②）、裏側が塗装された新品のクォータパネルを車体に取り付け（図2 ③）、表側を塗装した後、トリムやテールランプなど付属品を車体に取り付ける作業（図2 ④）です。

取り付け作業後には、水漏れの有無を確認する作業（水密テスト）を含んでいます。

なお、塗装に関する作業は表側、裏側共に補修塗装指数の範囲としているため、クォータパネル取替には含んでおりません。

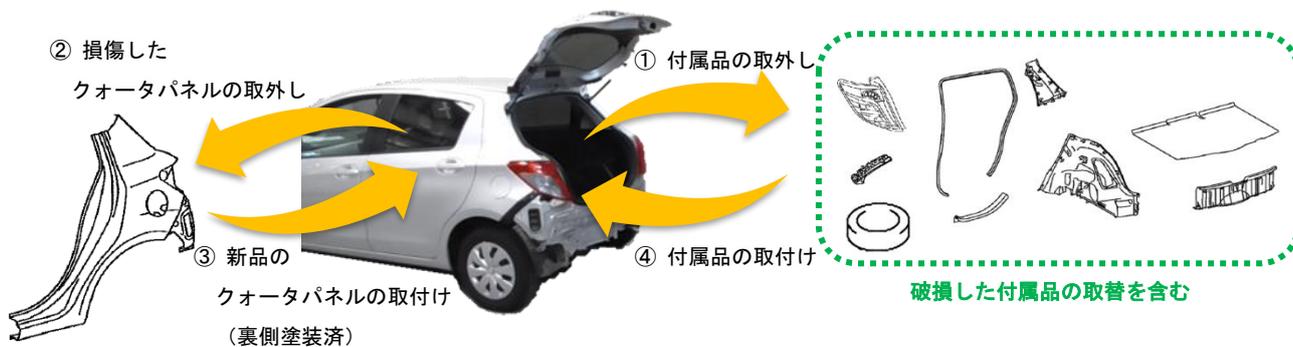


図2 B270 クォータパネル取替作業のイメージ

(3) 具体例

クォータパネルの指数テーブルを見てみましょう。

図3は、「トヨタ ヴィッツ 130系」の指数テーブル、次ページの表1はその説明です。

B270	
<b>① (1) 片側クォータパネル取替</b>	
2WD 左側	取外し状態 ・サイドマッドガード ・リヤバンパカバー ・リヤシート ③
② 6. 20	(含) 作業および部品
2WD 右側	・スベアホイールカバー脱着 ・デッキトリムサイドパネルAssy脱着 ・リヤコンビネーションランプAssy脱着 ・リヤドアオープニングトリムウエザストリップ脱着 ・リヤドアスカッフプレート脱着 ・リヤフロアフィニッシュプレート脱着 ・ルーフサイドガーニッシュインナ脱着 ・水密テスト ・付属品 ④
5. 90	
2WD アジャスタブルデッキボード付 左側	取外し状態 ・サイドマッドガード ・リヤバンパカバー ・リヤシート
6. 20	(含) 作業および部品
2WD アジャスタブルデッキボード付 右側	・スベアホイールカバー脱着 ・デッキトリムサイドパネルAssy脱着 ・デッキボードAssy脱着 ・リヤコンビネーションランプAssy脱着 ・リヤドアオープニングトリムウエザストリップ脱着 ・リヤドアスカッフプレート脱着 ・リヤフロアフィニッシュプレート脱着 ・ルーフサイドガーニッシュインナ脱着 ・水密テスト ・付属品 ④
5. 90	
4WD 左側	取外し状態 ・サイドマッドガード ・リヤバンパカバー ・リヤシート
6. 20	(含) 作業および部品
4WD 右側	・デッキトリムサイドパネルAssy脱着 ・デッキフロアボックスリヤ脱着 ・デッキボードAssy脱着 ・リヤコンビネーションランプAssy脱着 ・リヤドアオープニングトリムウエザストリップ脱着 ・リヤドアスカッフプレート脱着 ・リヤフロアフィニッシュプレート脱着 ・ルーフサイドガーニッシュインナ脱着 ・水密テスト ・付属品 ④
6. 00	
<b>① (2) 片側クォータパネル、片側クォータパネルエクステンションアツパ、片側バックドアオープニングトルーフ取替</b>	
2WD 左側	取外し状態 ・サイドマッドガード ・リヤバンパカバー ・リヤシート
② 7. 00	(含) 作業および部品
2WD 右側	・スベアホイールカバー脱着 ・デッキトリムサイドパネルAssy脱着 ・バックドアウエザストリップ脱着 ・リヤコンビネーションランプAssy脱着 ・リヤドアオープニングトリムウエザストリップ脱着 ・リヤドアスカッフプレート脱着 ・リヤフロアフィニッシュプレート脱着 ・ルーフサイドガーニッシュインナ脱着 ・水密テスト ・付属品
6. 70	
2WD アジャスタブルデッキボード付 左側	取外し状態 ・サイドマッドガード ・リヤバンパカバー ・リヤシート
7. 00	(含) 作業および部品
2WD アジャスタブルデッキボード付 右側	・スベアホイールカバー脱着 ・デッキトリムサイドパネルAssy脱着 ・デッキボードAssy脱着 ・バックドアウエザストリップ脱着 ・リヤコンビネーションランプAssy脱着 ・リヤドアオープニングトリムウエザストリップ脱着 ・リヤドアスカッフプレート脱着 ・リヤフロアフィニッシュプレート脱着 ・ルーフサイドガーニッシュインナ脱着 ・水密テスト ・付属品
6. 70	
4WD 左側	取外し状態 ・サイドマッドガード ・リヤバンパカバー ・リヤシート
7. 00	(含) 作業および部品
4WD 右側	・デッキトリムサイドパネルAssy脱着 ・デッキフロアボックスリヤ脱着 ・デッキボードAssy脱着 ・バックドアウエザストリップ脱着 ・リヤコンビネーションランプAssy脱着 ・リヤドアオープニングトリムウエザストリップ脱着 ・リヤドアスカッフプレート脱着 ・リヤフロアフィニッシュプレート脱着 ・ルーフサイドガーニッシュインナ脱着 ・水密テスト ・付属品
6. 70	
・クォータパネル上部および下部(ロッカパネル部)でのカット作業 ・クォータパネルエクステンションアツパは上部でのカット作業 ・[除]ルーフヘッドライニングAssy ・[除]フューエルフィラオープニングリッドAssyがある左側クォータパネルでのフューエルタンクAssy脱着作業 ⑤	

図3 トヨタ ヴィッツ 130系の指数テーブル

表 1 指数テーブル各欄の説明

図3の番号	説明
① 指数 作業項目	<p>指数作業項目として以下の2項目が設定されています。</p> <p>(1) 片側クォータパネルのみの取替作業</p> <p>(2) 片側クォータパネル、片側クォータパネルエクステンションアッパおよび片側バックドアオープニングトルーフの取替作業</p>
② 指数	<p>2WD(アジャスタブルデッキボード無し)、2WD アジャスタブルデッキボード付、4WD、それぞれ左側と右側の6つの指数が設定されています。</p> <p><b>＜フューエルリッド側の作業＞</b>            フューエルリッド側の指数には、フィラネックの切離し作業が含まれており、指数が左右で異なる場合があります。</p>
③ 取外し状態	<p>この指数は、サイドマッドガード、リヤバンパカバー、リヤシートが取外された状態からの作業であることを示しています。</p> <p><b>＜取外し状態の考え方＞</b>            取外し状態は指数を作成するための前提条件であり、実際に作業を行うための必要条件ではありません。取外し状態に記載されている部品は、取外さなければ作業が不可能な場合と、取外さなくても作業が可能な場合とがあり、取外しの要否については個別に判断が必要です。</p>
④ (含) 作業 および部品	<p>2WD(アジャスタブルデッキボード無し)、2WD アジャスタブルデッキボード付、4WDで、それぞれ含まれている作業や部品が異なります。指数では、作業上通常必要とされる部品を全て含み、それを記載しています。</p> <p><b>＜記載される部品名称＞</b>            作業項目の内容をより明確にするために、記載する部品の名称はできるだけ多くしていますが、細部品(タイヤ、リヤバンパサイドブラケット、フューエルリッド、ガーニッシュホールプラグなど)は「付属品」として個別の記載はしていません。</p> <p><b>＜テールランプおよびトリムについて＞</b>            取外し状態の項目(リヤバンパ、リヤシートなど)に含まれている場合は、クォータパネルの指数には含んでおりません。</p> <p><b>＜ディーラオプションの取扱い＞</b>            アーチモールなどがディーラオプションとして取付けられていることがあります。ディーラオプションは指数の対象としておりませんので、指数の作業には含んでおりません。</p>
⑤ 備考欄	<p>カット作業にて取替作業を行う場合は、カット作業を行う箇所を記載しています。</p> <p><b>＜[除]作業について＞</b>            指数に含まない部品や、作業がある場合に記載しています。作業の要否については、個別に判断が必要です。</p>

それでは、実際の使用を想定し計算してみます。

2WD のアジャスタブルデッキボード無し仕様について、左側クォータパネルを取替える場合の指数は 6.20 になります (図 4)。

**2WD 左側  
6.20  
を使用します**

B270	
(1)片側クォータパネル取替	
	取外し状態
2WD 左側 6.20	・サイドマッドガード ・リヤバンパカバー (含)作業および部品
2WD 右側 5.90	・スペアホイールカバー 脱着 ・デッキトリムサイドパネルAssy脱着 ・リヤコンビネーションランプAssy脱着 ・リヤドアオープニングトリムウエザーストリップ脱着 ・リヤドアスカッフプレート脱着
	取外し状態
2WD アジャスタブルデッキボード付 左側 6.20	・サイドマッドガード ・リヤバンパカバー (含)作業および部品
2WD アジャスタブルデッキボード付 右側 5.90	・スペアホイールカバー 脱着 ・デッキトリムサイドパネルAssy脱着 ・デッキボードAssy脱着 ・リヤコンビネーションランプAssy脱着 ・リヤドアオープニングトリムウエザーストリップ脱着
	取外し状態
4WD 左側 6.20	・サイドマッドガード ・リヤバンパカバー (含)作業および部品
4WD 右側 6.00	・デッキトリムサイドパネルAssy脱着 ・デッキフロアボックスリヤ脱着 ・デッキボードAssy脱着 ・リヤコンビネーションランプAssy脱着 ・リヤドアオープニングトリムウエザーストリップ脱着
	・リヤドアスカッフプレート脱着 ・リヤフロアフィニッシュプレート脱着 ・ルーフサイドガーニッシュインナ脱着 ・水密テスト ・付属品
	・クォータパネル 上部および下部(ロッカパネル部)でのカット作業 ・クォータパネルエクステンションアッパは上部でのカット作業 ・[除]ルーフヘッドライニング Assy ・[除]フューエルファイアオープニンググリッドAssyがある左側クォータパネルでのフューエルタンクAssy脱着作業

図 4 トヨタ ヴィッツ 130 系の指数テーブル